

A photograph of children in blue caps and white uniforms working on a project at a table. They are looking at a document and a tray of materials. The image is semi-transparent with text overlaid.

接続期におけるカリキュラム作成

～幼保小の連携・接続を保育授業改善へ～

彦根市立城東小学校（滋賀県）
教諭 平中 理恵

◆今日のゴール

幼保小連携(小中連携)の推進に向け…

- 自校園と連携先との連携の現状について捉え、説明することができる。
- 幼保小連携を進めるための組織について案をもつことができる。
- 幼保小連携で学んだことを自校園全体の取組とするための「しかけ」について案をもつことができる。

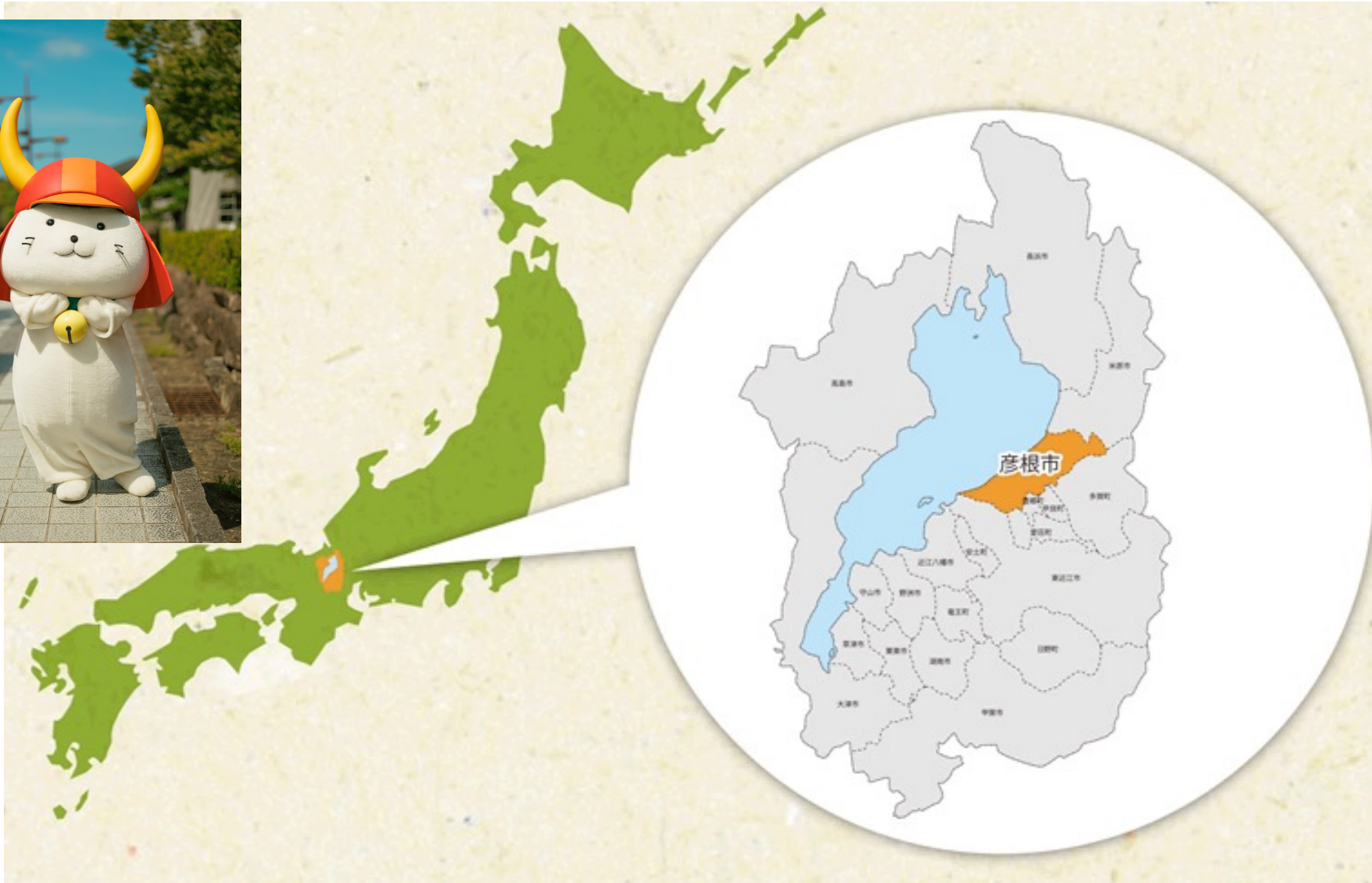
◆ 内容

- 1 「はじめまして」
- 2 動画視聴
- 3 グループ協議
- 4 共有
- 5 グループごとのまとめ
- 6 城東小の3年のあゆみ



平中 理恵
滋賀県彦根市立城東小学校
教務主任・校内研主任
幼保小の架け橋プログラム事業

1 はじめまして



お名前
ご所属
担当
もし、宝くじがあたったら…



【今日の設定】

- ・ 同じ地域の園・学校にお勤め
- ・ 連携の取組が始まって2年目
- ・ 先生方は、赴任された直後

→今日は、今年度初めて全員が集まって研修を行う。

【期待する子ども像】

心が動く、心をほぐす

～答えがないことでも、自ら考え、

しなやかな心を持ち、失敗を恐れず行動する

大切にしていること



各校園の強みや弱み

2 動画視聴



2 動画視聴

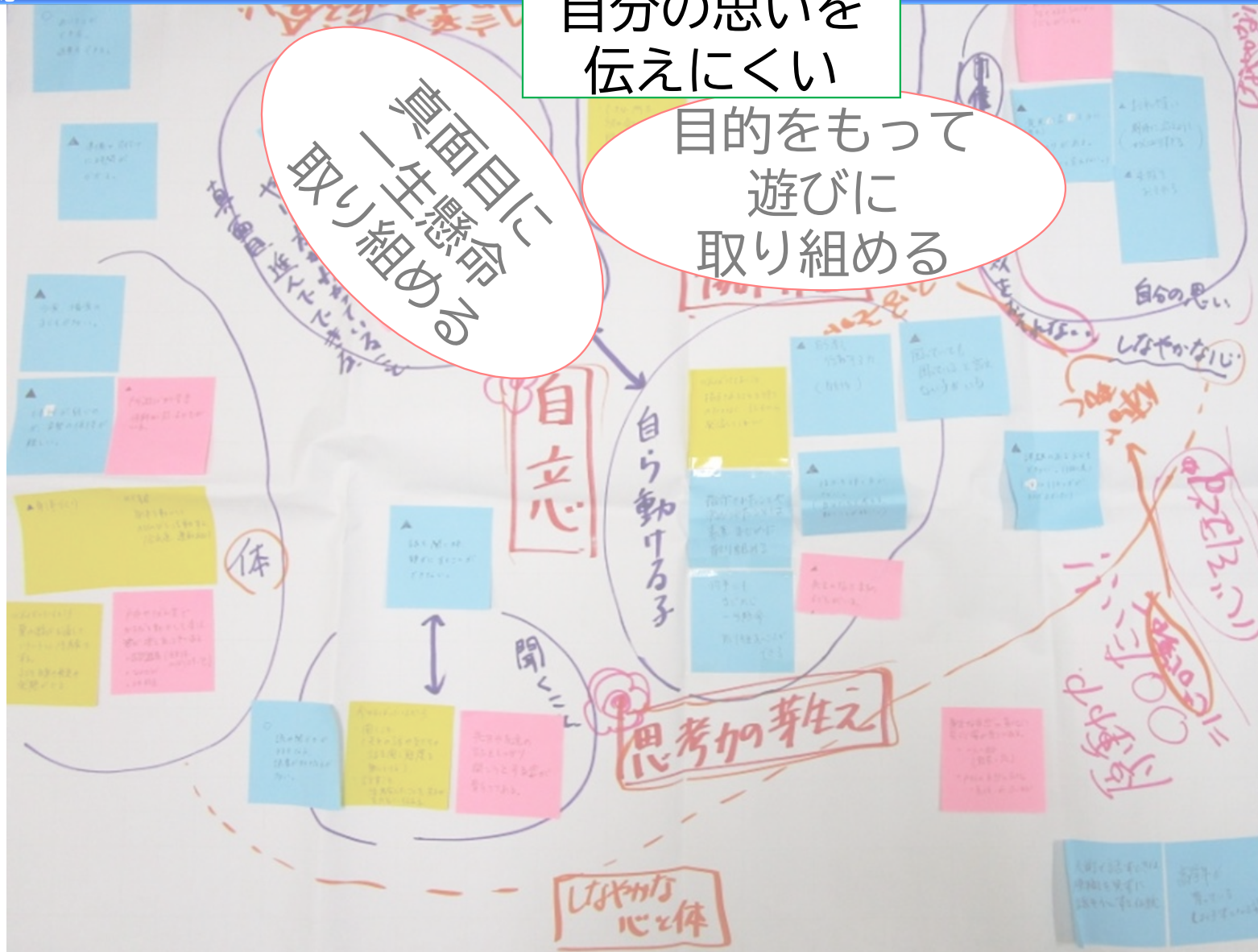




自分の思いを
伝えにくい

目的をもって
遊びに
取り組める

真面目に
一生懸命に
取り組める

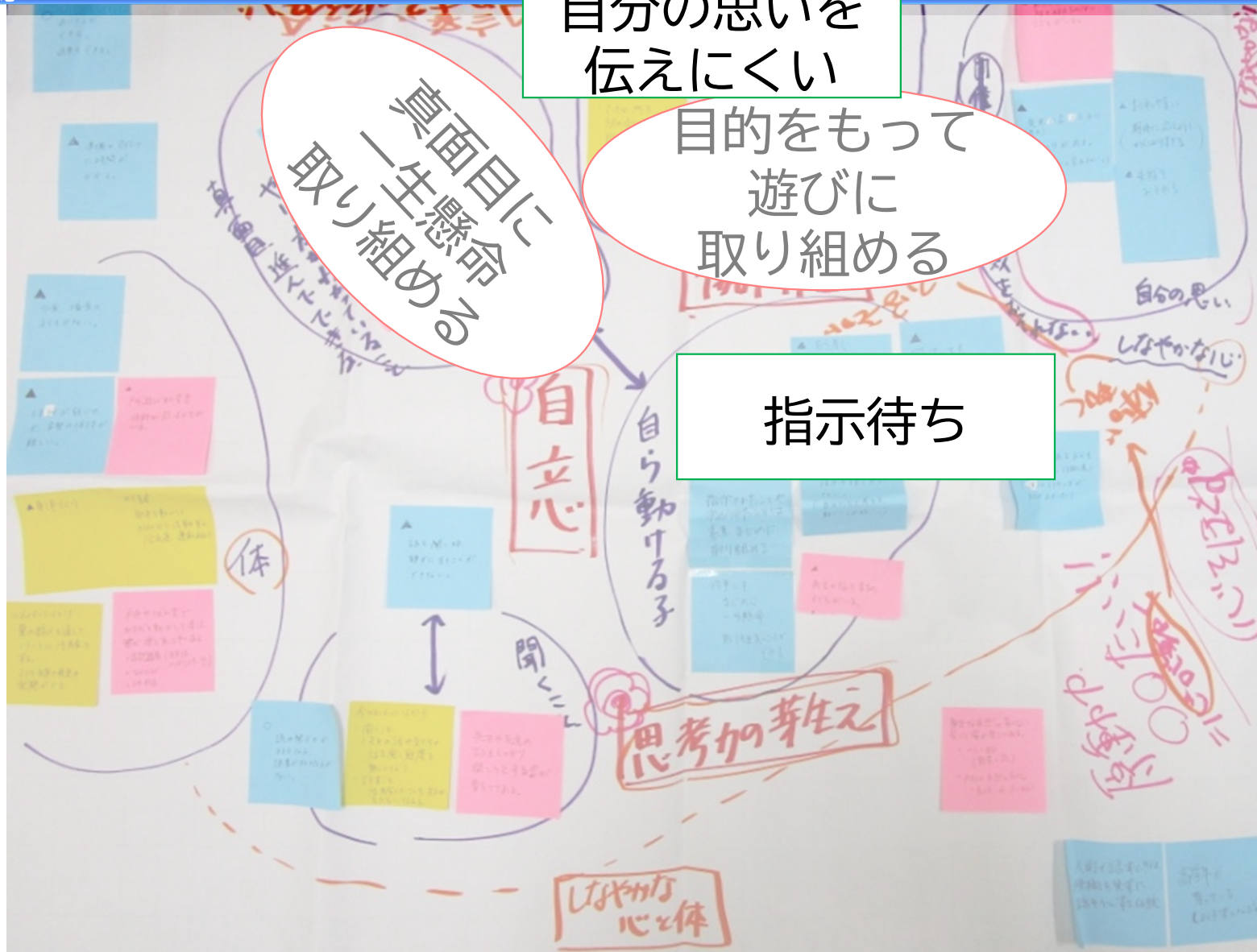


自分の思いを
伝えにくい

真面目に
一生懸命に
取り組める

目的をもって
遊びに
取り組める

指示待ち



自分の思いを
伝えにくい

心が動く、心をほぐす
～答えがないことでも、自ら考え、
しなやかな心もち、失敗を恐れず行動する～

【重点とする「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」】
自立心 思考力の芽生え

「〇〇したい」をつないでつくる(保育)・授業

「〇〇したい」をつないでつくる(保育)・授業



彦根幼稚園
5歳児



城東小学校
1年

「〇〇したい」をつないでつくる(保育)・授業

子どもの姿



教師の支援
関わり
言葉がけ

「〇〇したい」をつないでつくる(保育)・授業



彦根幼稚園 5歳児

○秋

○お店ごっこ

- ・水族館
- ・サーティーワン
- ・アクセサリー屋さん
- ・どんぐりころがし
- ・平和堂(総合スーパー)

○活動の一部→サークルタイム



「〇〇したい」をつないでつくる(保育)・授業

- 春 「架け橋」第1回会議を兼ねて
- 生活科 がっこうたんけん
 - ①場所と出会う
 - ②物と出会う
 - ③人と出会う

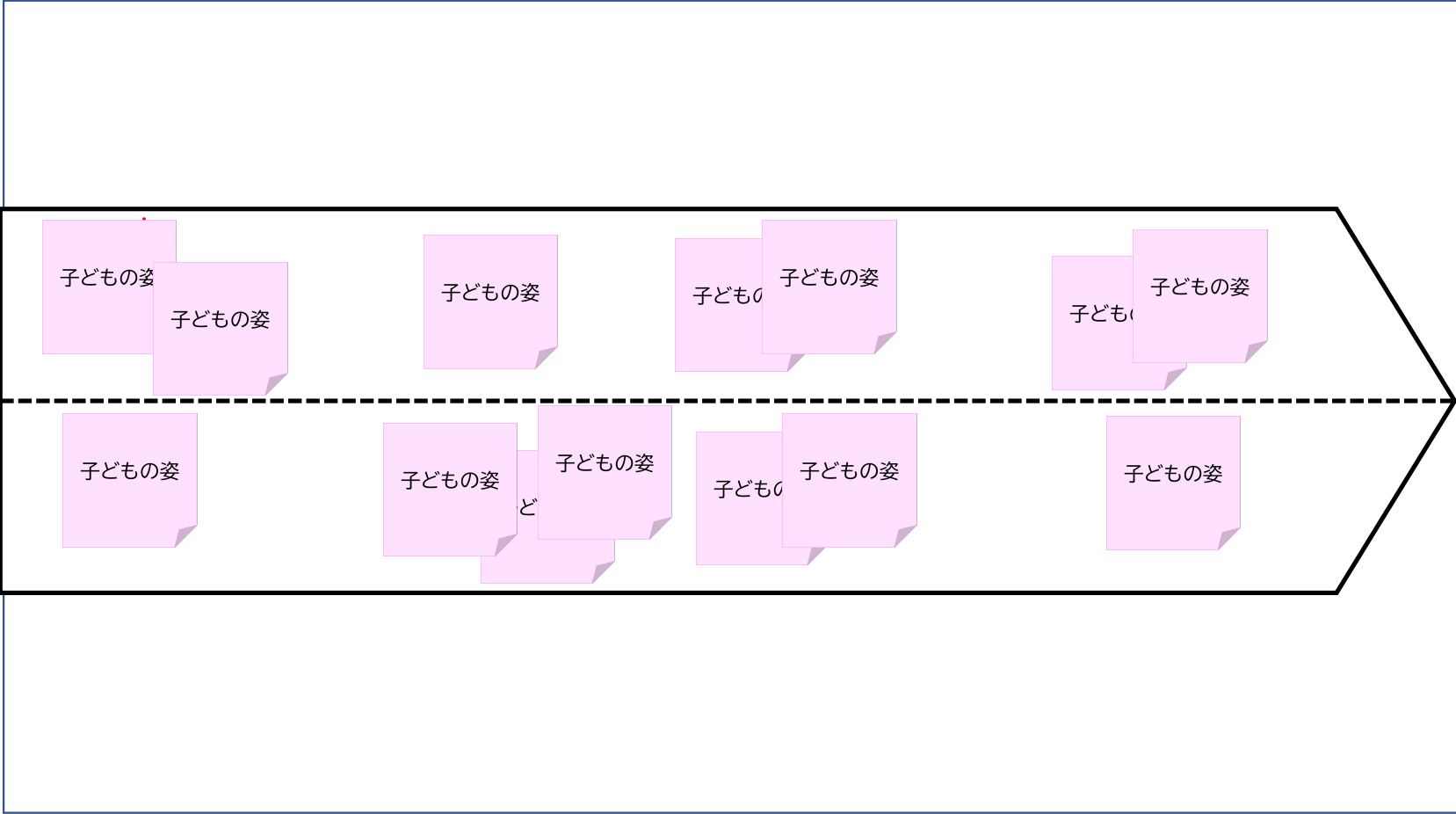
(がっこうたんけんその10)
- 2時間目の終わり
(→中休み)
→3時間目の最初



城東小学校
1年

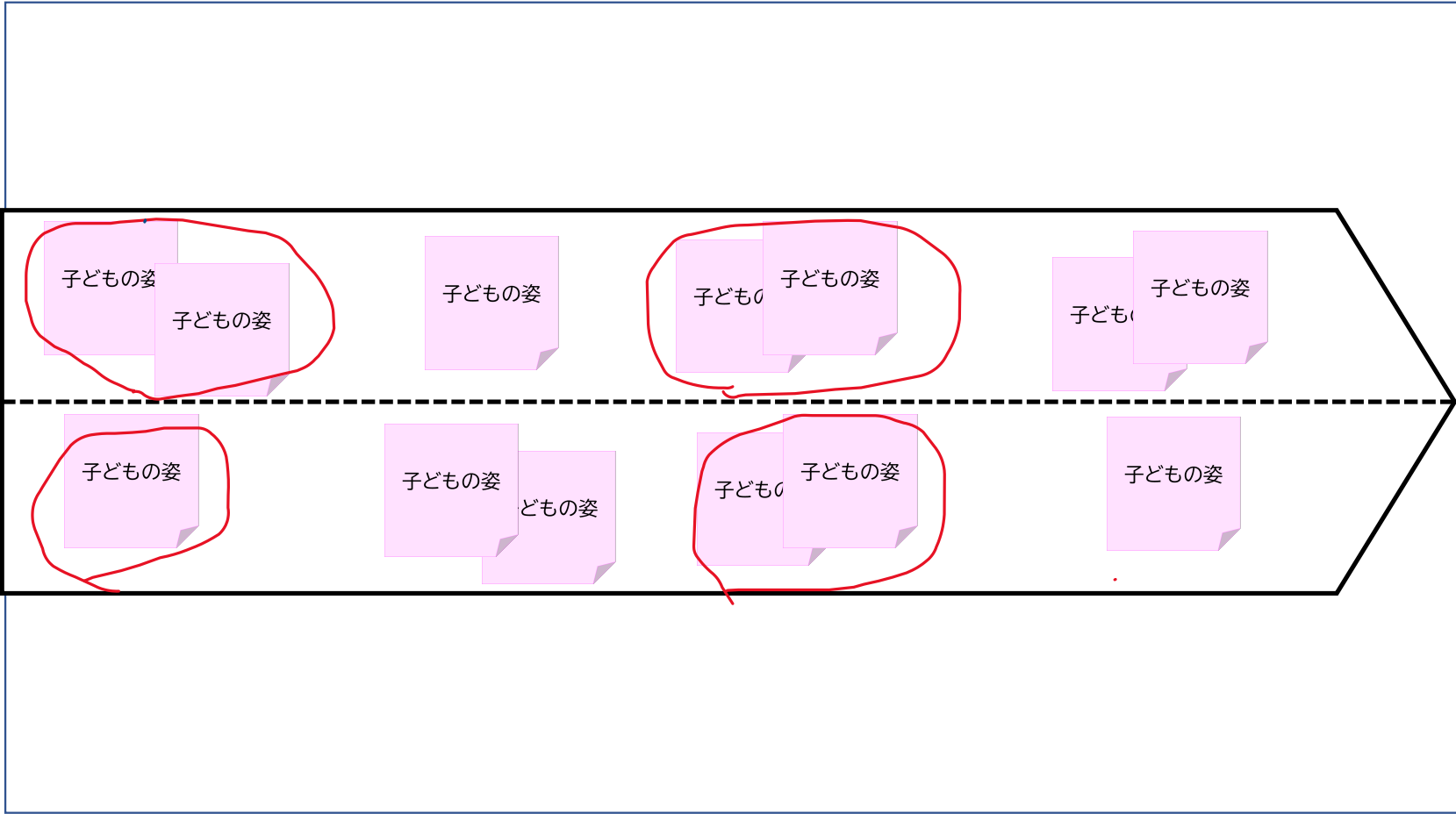


城東小
彦根幼



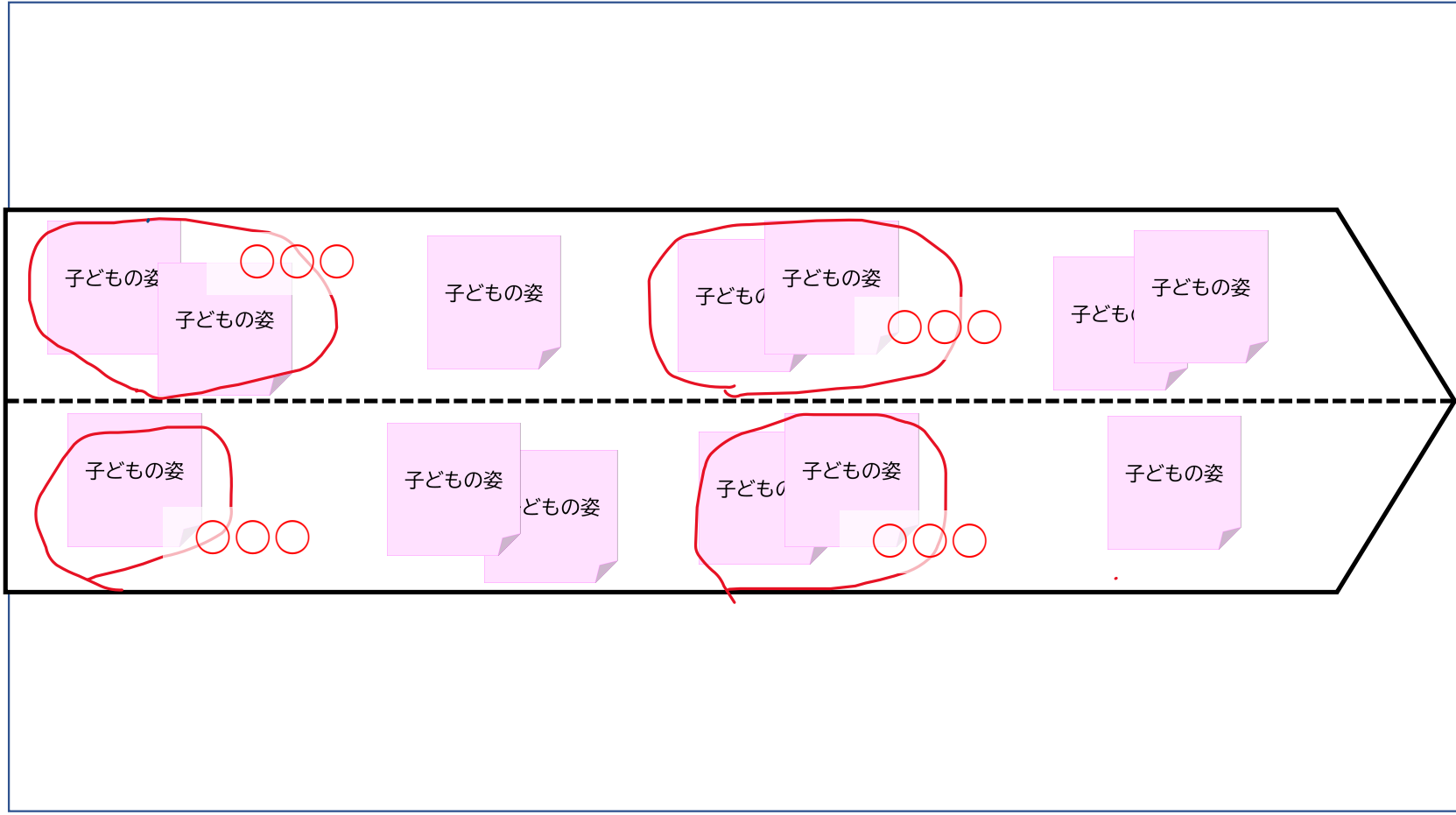
「〇〇したい」が「つながらる」

城東小
彦根幼



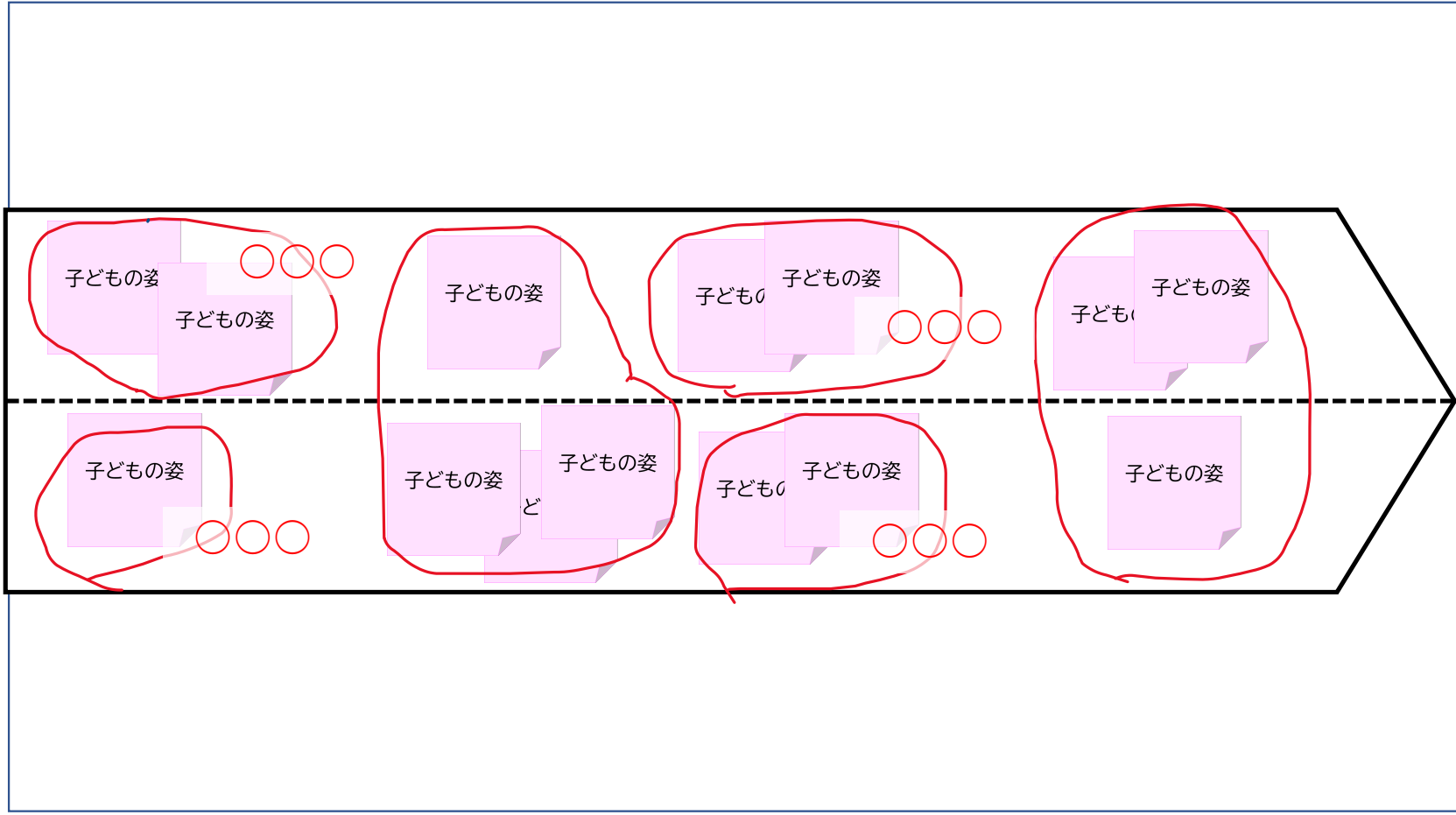
「〇〇したい」が つながる

城東小
彦根幼



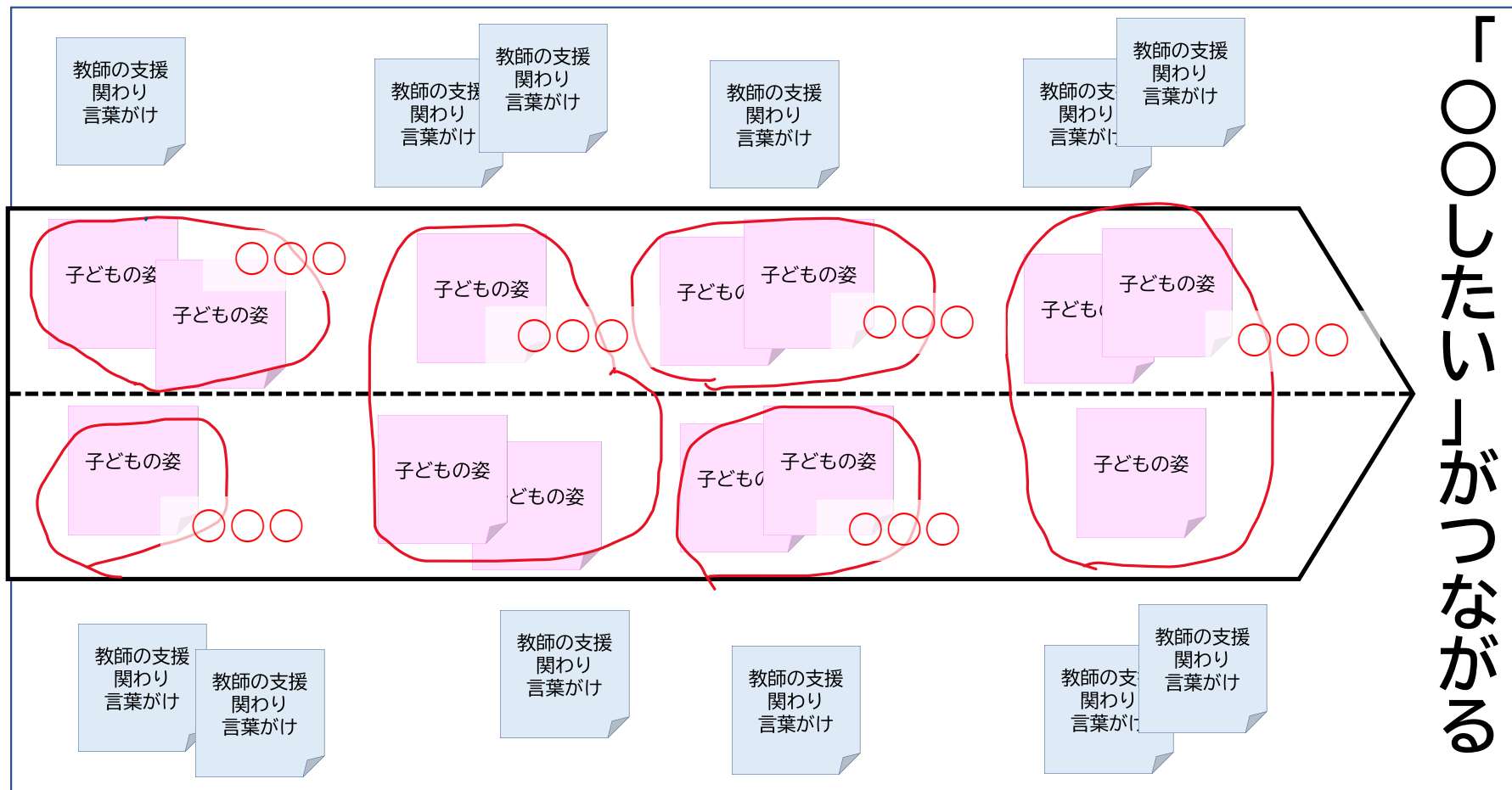
「〇〇したい」が つながる

城東小
彦根幼

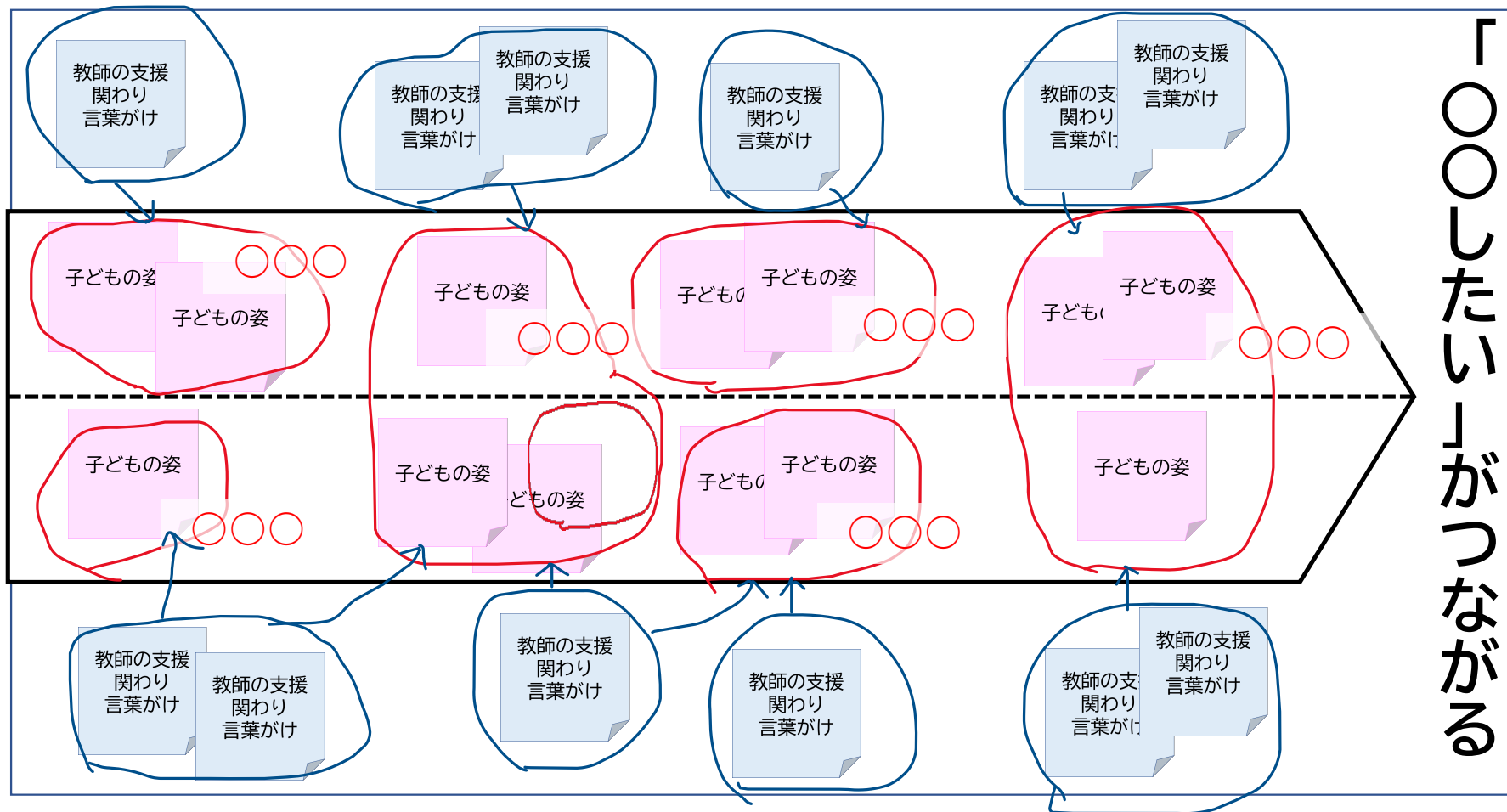


「〇〇したい」が
つながる

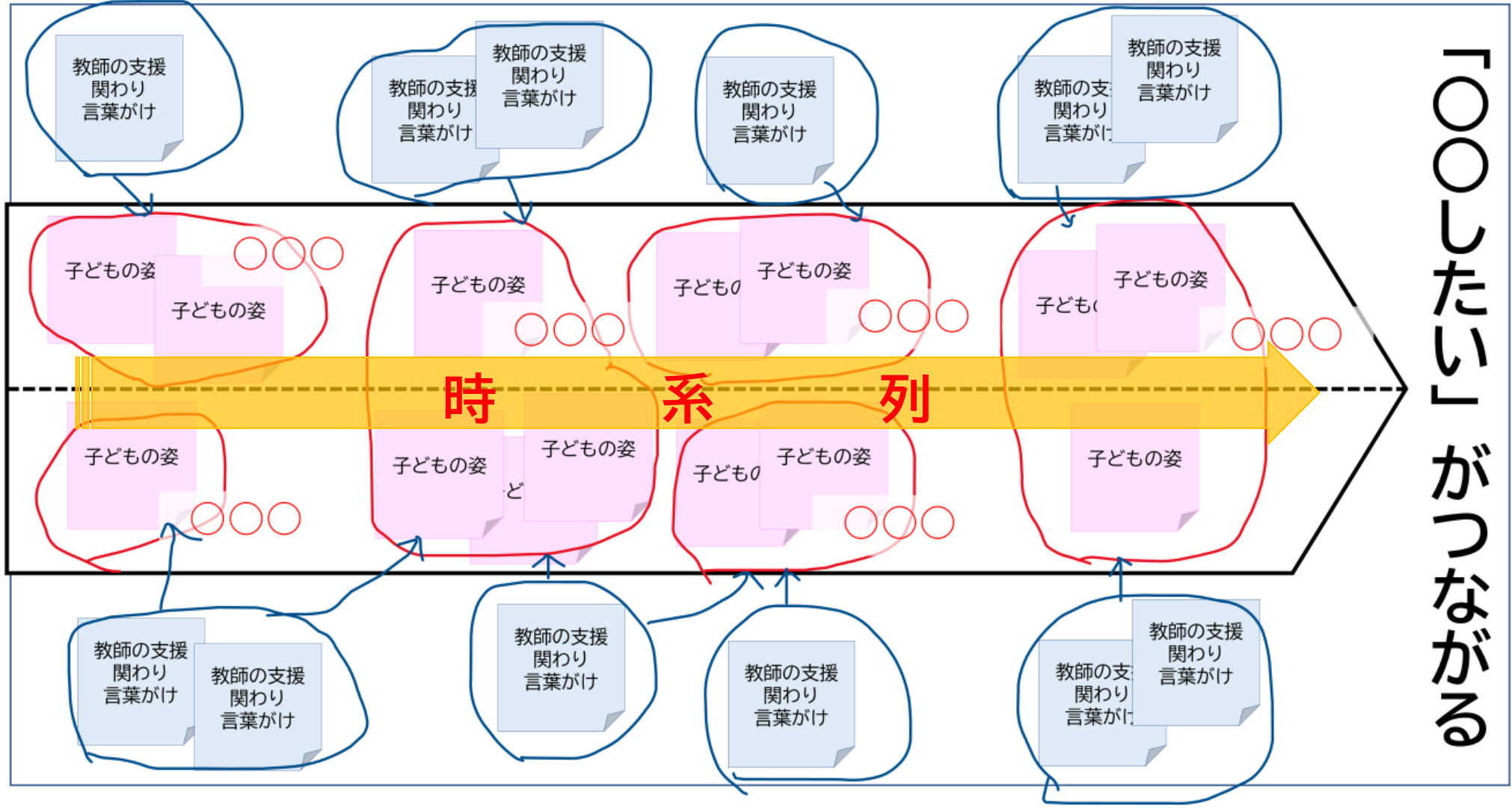
城東小
彦根幼



城東小
彦根幼

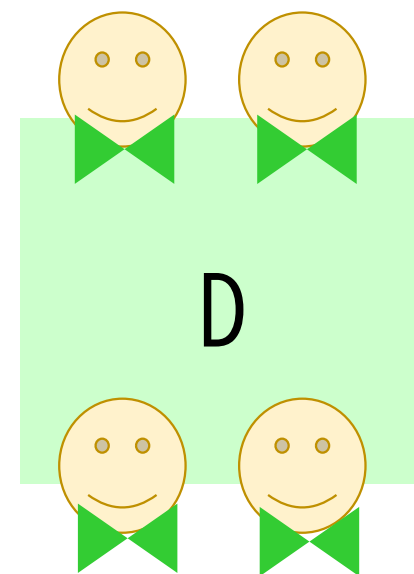
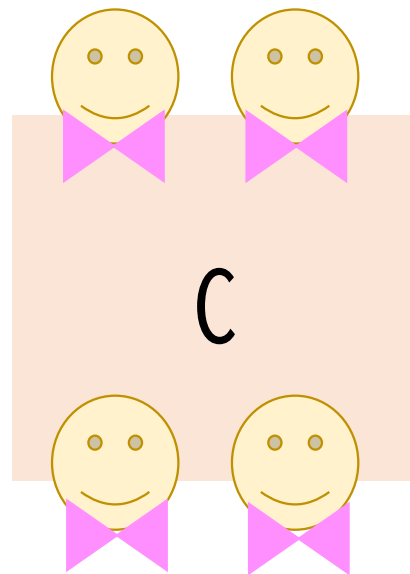
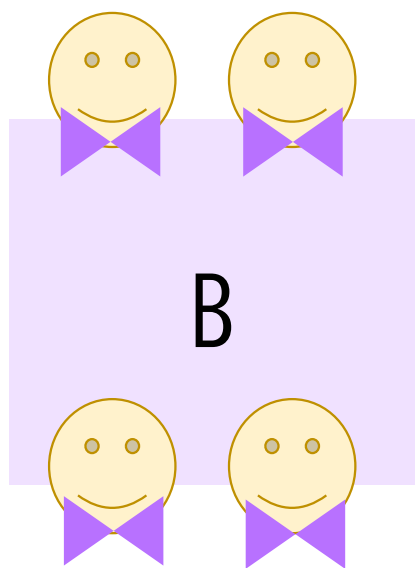
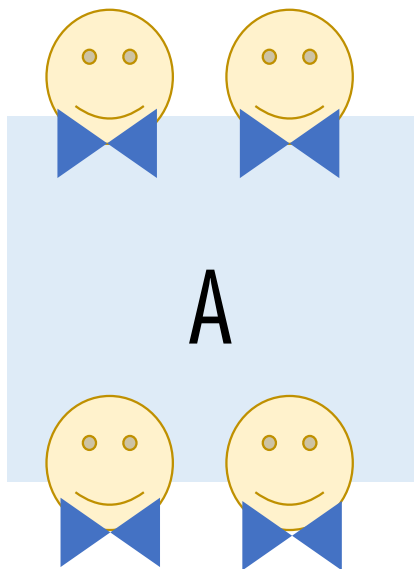


城東小
彦根幼

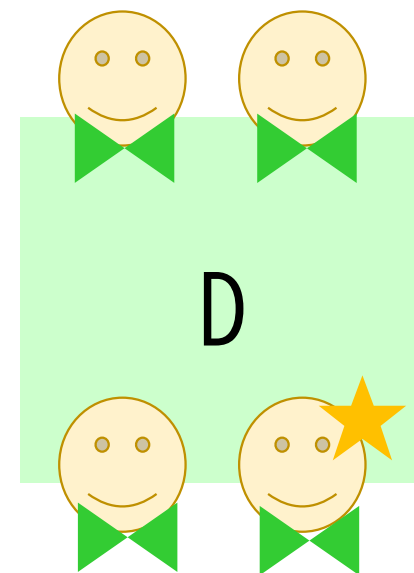
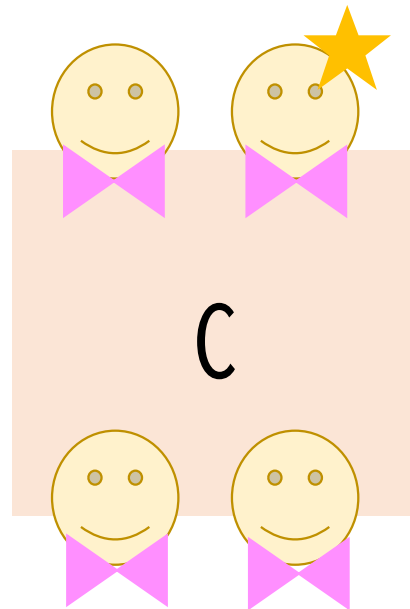
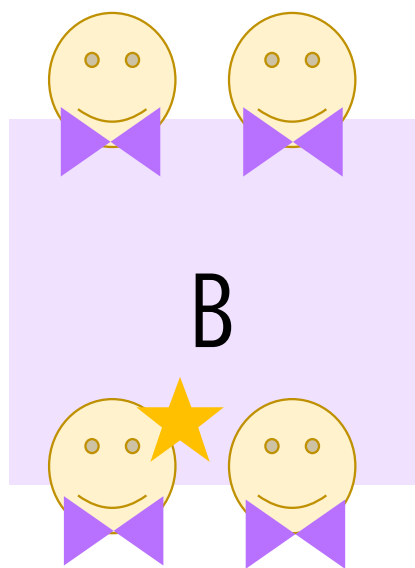
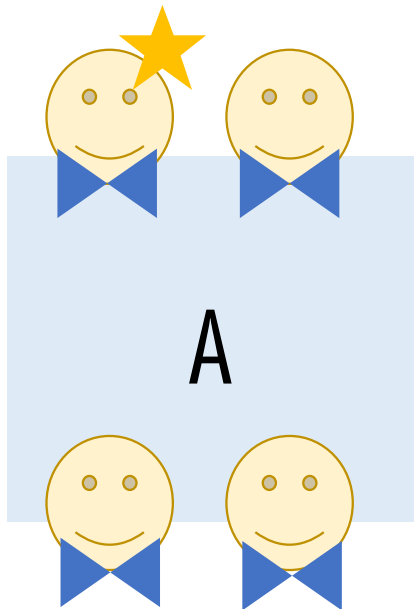


「〇〇したい」がっつながる

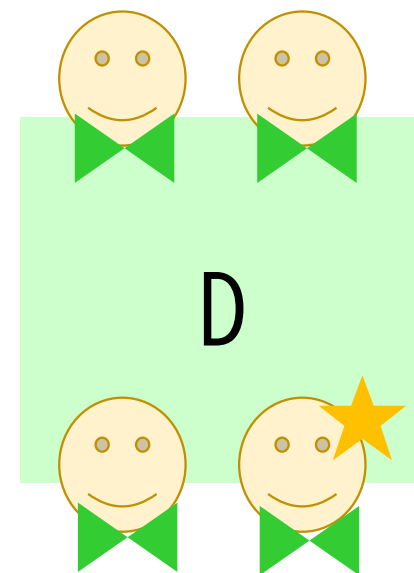
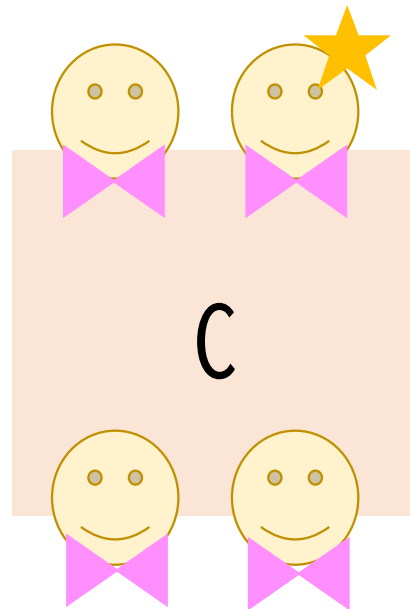
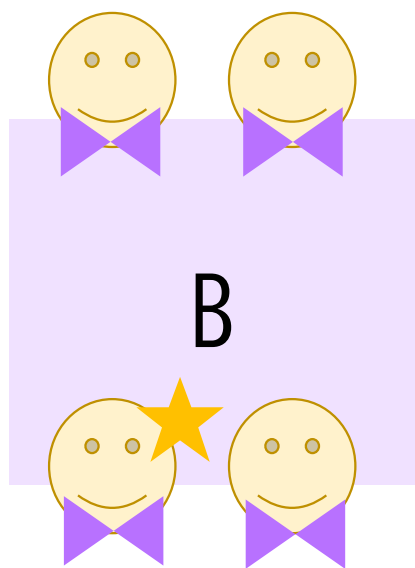
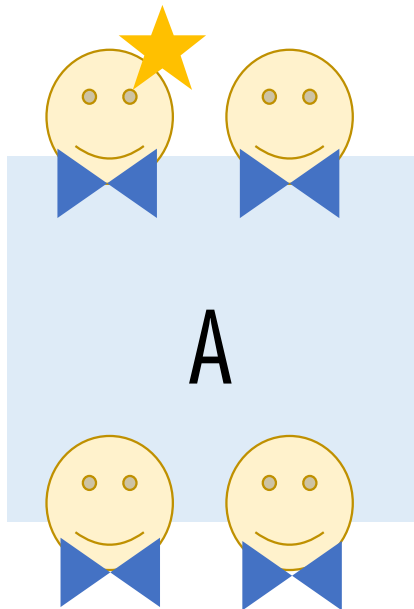
屋台方式



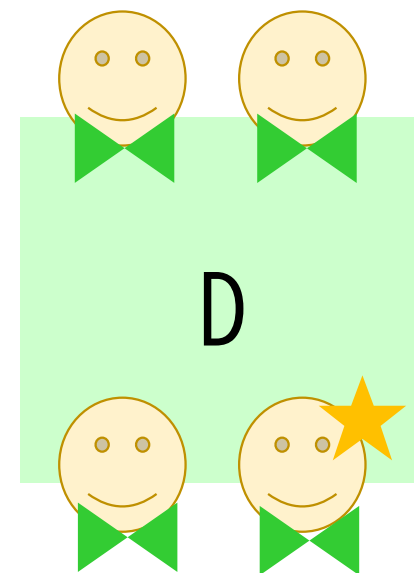
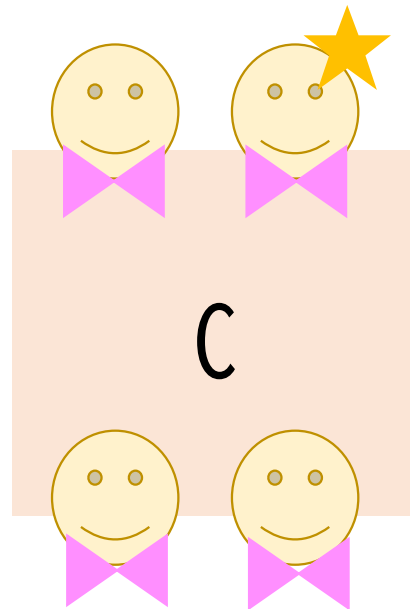
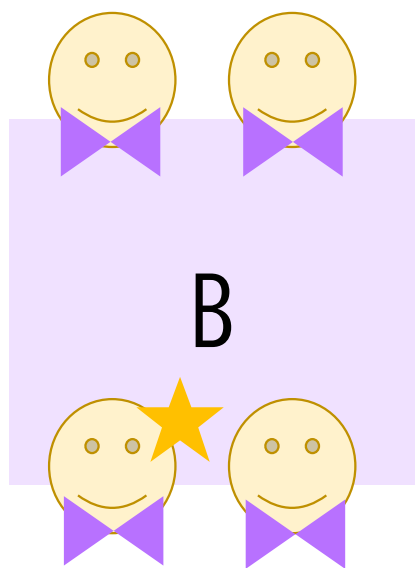
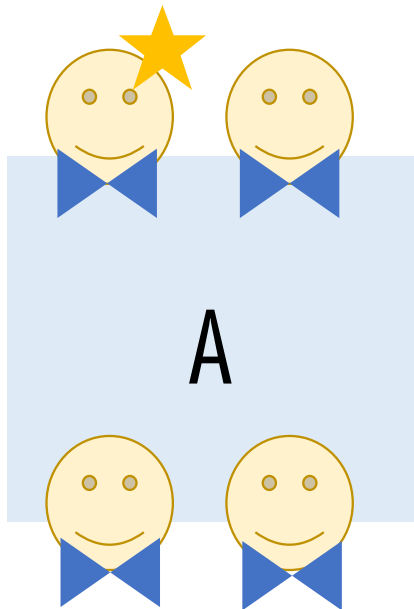
屋台方式



屋台方式



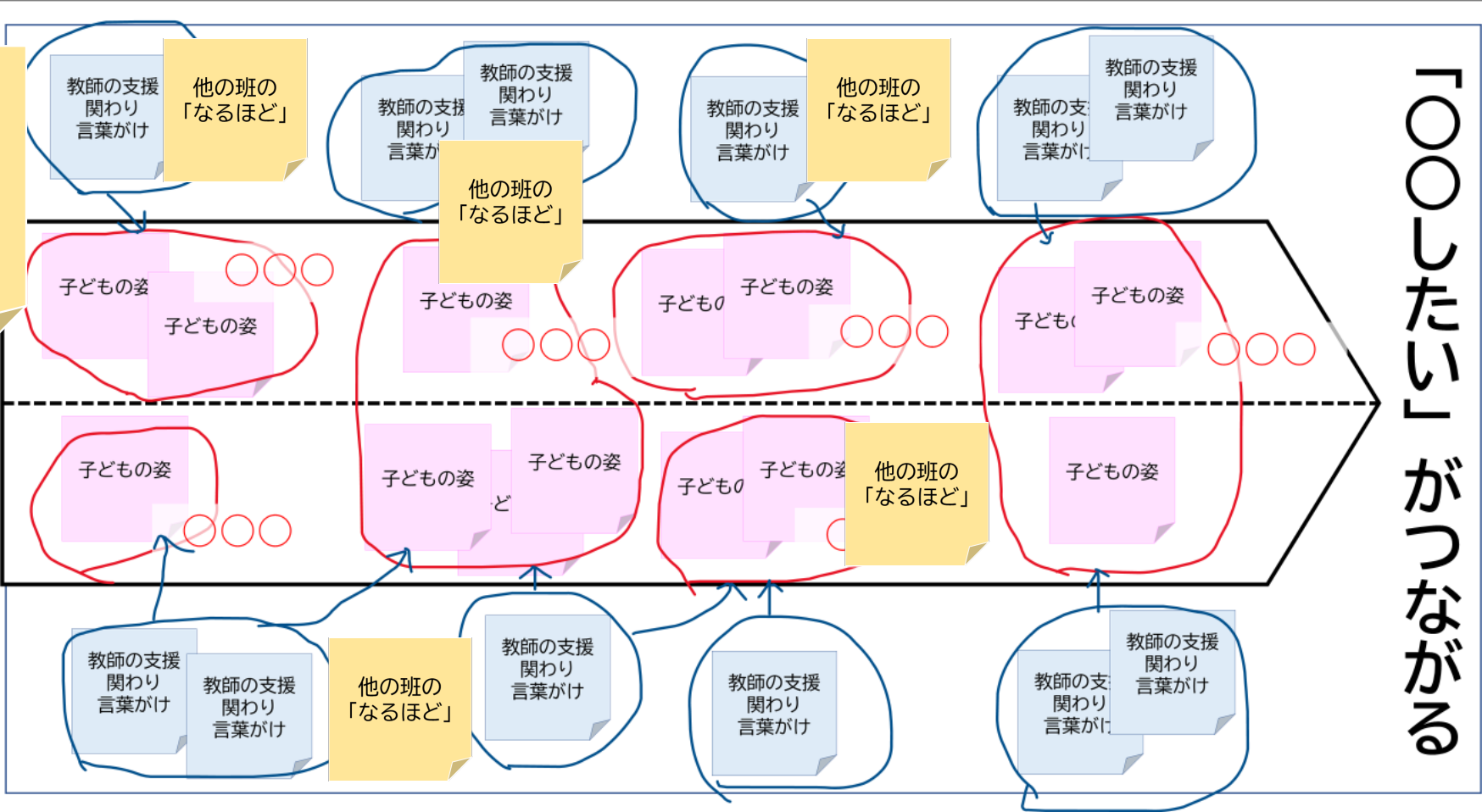
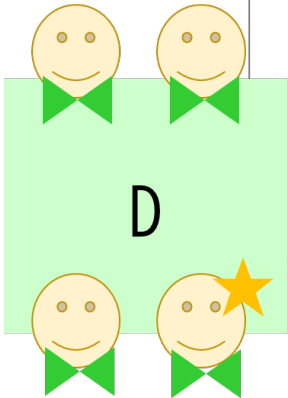
屋台方式



5 グループごとのまとめ

他の班の
「なるほど」

小
彦
根
幼

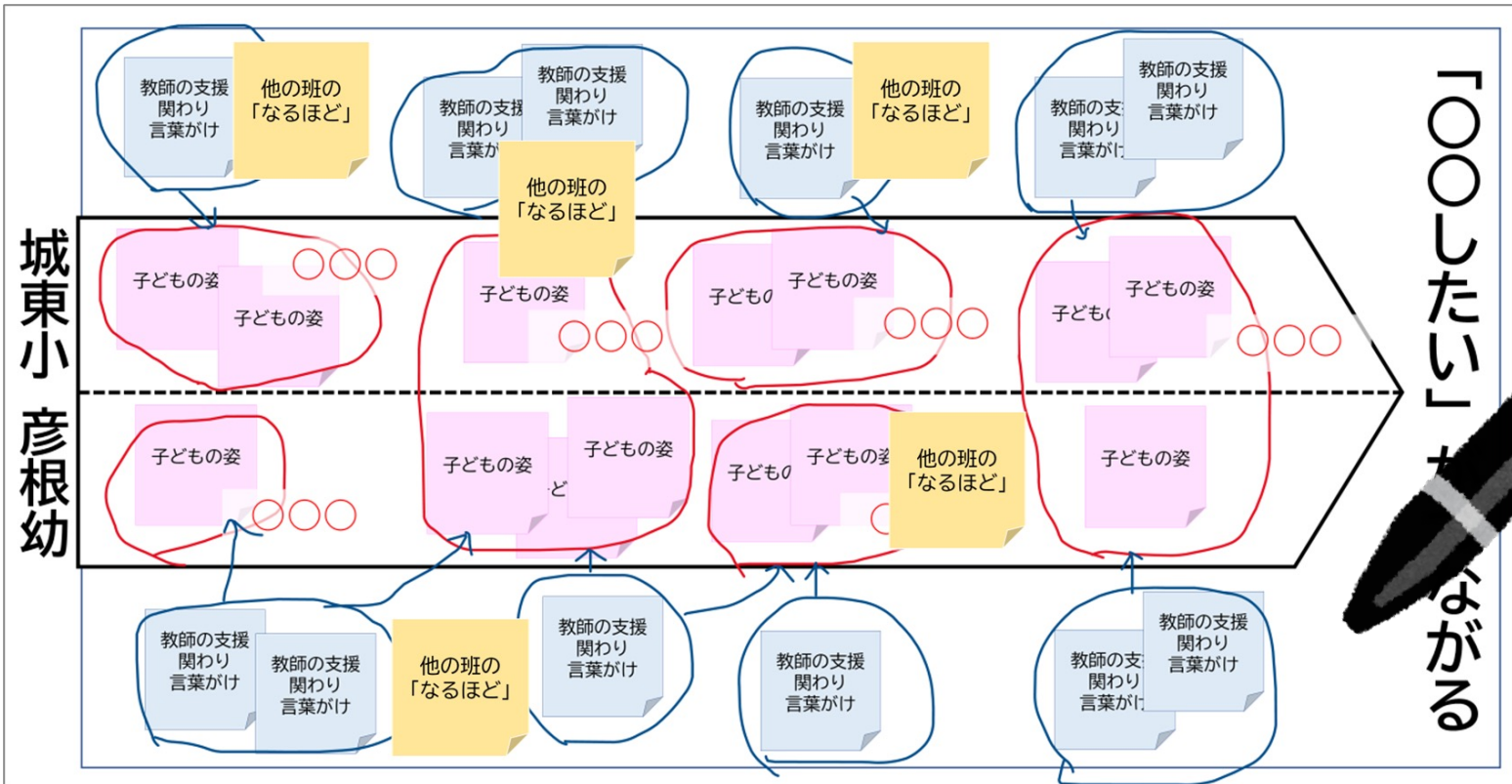


「〇〇したい」がっつながる

「〇〇したい」をつないでつくる(保育)・授業

のための

「これだね！」



具体



【振り返り】自分化

演習をとおして
考えたこと・感じたこと・知ったこと



これから、私はこれをやっていきます！

私はこうする
宣言

〇〇ということが
わかったので、
□□をしていき
ます。

6 城東小3年間のあゆみ

滋賀県版「架け橋期カリキュラム」共通シート 【城東小学校区】校園名（城東小学校）

時期	5歳児				第1学年		
	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	
期待する子ども像	心が動く、心をほぐす ～答えがないことでも、自ら考え、しなやかな心をもち、失敗を恐れず行動する～						
授業のねらい	～答えがないことでも、自ら考え、しなやかな心をもち、失敗を恐れず行動する～						
児童の学びたいこと	～答えがないことでも、自ら考え、しなやかな心をもち、失敗を恐れず行動する～						
先生との関わり	～答えがないことでも、自ら考え、しなやかな心をもち、失敗を恐れず行動する～						
キーワード	～答えがないことでも、自ら考え、しなやかな心をもち、失敗を恐れず行動する～						
主な教育課程・予想される活動							
	<p>振り返り</p> <p>振り返り</p>						

共通シート

1年 生活【がっこうだいすき】 ☆は、総合的・関連的に指導する教科

○学校探検の約束をみんなで考える。
①1人が行きたい所に自由に行く。
（全教員の協力）授業時間各教室や特別教室に入れるよう時間を設定。
・それが見つけたいものを共有することで「もっと行きたい」という思いを高められるようにする。
・その後、休み時間にも各自で探検に行く。

【単元目標】
学校生活に関する活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人や友達などについて考え、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることに気付くとともに、学校の施設をもっと知りたい、先生や友達などと親しくなりたいという思いをもって、それらと関わろうとすることができるようにする。

⑥・1階には校長室があるよ。
・音楽室からきれいな音がして！
・全員の部屋をコンプリートしたら、地図が完成したよ。
・「この部屋は何階？」「これは2階だよ。」
・「こちようしつ？」「ちよう？」ってどうやって書くの？

⑦・地図ができたから、これで迷子にならないですね！
・誰か迷っている部屋の中には、どんなのがあるんだろ？
・廊下でうろたさしちゃって、先生に注意されたよ。

⑧・見つけた物を忘れてしまつたら、メモがしたいな。見つけた教室の名前や場所を紙に書いておこう。
・廊下は静かに歩かないといけない。
・みんなが1階1階に集まれるように、終わりの時間を決めておきたいね。

⑨・緑の部屋には楽器がたくさんある。
・音楽室の音が聞こえてきそう。
・音楽室で太鼓を叩こう。いい音！
・見てみて！2階1階にこんな電気がいるよ。
・かがやきそうなんだよ。みんなの電気も全部が1階1階に集まるよ。
・体育館に校歌の歌碑があるね。

⑩・この部屋の扉を開けてほしいな。たんけんに行く前に、先生にお願いしてね。
・見つけた物の絵をかいて、報告会で見せたいな。色鉛筆を持って行こう。
・帰って来たら太鼓。帰りたいときは、先生に願うようにしよう。

（いろいろな物との出会い）

何が必要か
何が必要か
何を、どのようにするか
何を、どのようにするか

学校探検
振り返り
学校たんけん
振り返り

目的・目標
目的・目標

①学校でどんなところだろう？
お兄ちゃん、お姉ちゃんに聞いてほしいな。
②お兄ちゃん、お姉ちゃんに聞いてほしいな。
③迷子にならないようにするために、学校の地図を作りたかな。
④学校には、どこにどんな部屋があるのかな。知るために、学校たんけんに行こう。
・1階1階の上は、どんな部屋があるのかな。
・お兄ちゃんお姉ちゃんに聞いてほしいな。
・学校は何階まであるんだろ？
・3階にはどんな部屋があるかな。
⑤学校にはどんな物があるのかな。見てみたい。
⑥部屋の中に入って、どんな物があるかを知るために、学校たんけんに行こう。
・4階の部屋があった部屋の中には、どんな物があるかな。
・お兄ちゃんお姉ちゃんに聞いてほしいな。
・2年生が生き物を飼っているみたい。どんな生き物かな。

【指導の記録と考察】 ★子どもたちの困り感から広がる活動
入学2日後という想定よりも早いタイミングで子どもたちから「探検したい」という声がかれた。想定とは違ったが、学校の施設に関する前に活動がスタートしたからこそ、思いをみんなでも共有できた。次の活動の「したい」を自然に引き出すことができたと思えた。活動をを行う際に、3年生の子も「どんな活動か」「どんな物があるのかな」「なぜしているのか（目的）」を教員で共有することが大切だった。学校全体で活動を展開したり適切な声かけ（褒める声、注意や質問など）をする体制を作ることができた。子どもにも理解しやすい授業内容の設計から、探検で集めた情報を地図にまとめることになった。子どもにも理解しやすい授業内容として、情報量が多くなるべく簡潔化するための図やイラストなども追加していった。しかし、子どもたちが活動する中で目印となっていたため、あえてそれらも図に現したり、目印となるイラストを地図と併せて追加しても良かったと感じた。また、名前が漢字で書かれている教室の札が多く、子どもたちが書き取りしたり読んだりする時に、困っていたり、お兄ちゃんに聞いてほしいなどの支援が必要だった。
★学校探検の学習では、探検で見つけた教室の名前を自分で書くなど、総合的・関連的な指導を取り入れた。今までは一文字ずつ書いて繰り返し書く練習をしてきたが、生活科での学習を活かして自分で書く必要感や「書きたい」という思いが明確で、生活科以外の教科の「したい」に繋がることができた。

★学校にある「物」との自然な出会い
地図を完成させた子どもたちは、学校の中にある「物」に注目して、いろいろな物との出会いを楽しむ活動を行った。理科室や音楽室、音楽室などその日に開放する部屋を子どもたちも知らず知らずのうちに活動の場となるようになっていた。今まで子どもたちも知らなかった部屋にはどんなものがあるのかなと、お兄ちゃんお姉ちゃんに聞いてほしいな。しかし、教師が準備した物との出会いで活動が終わってしまつたように感じる。子どもたちも自然に出会うことができると良かったと思う。特別教室の開放は、物の種類や機能など心配なことも多くあり、学習時間のみとした。しかし、自然な出会いを準備するために、休み時間にも特別教室を開放するなどして、もっと自然な出会いと知り合える機会を作りたいと思ふ。その際には、教員もかまらぬ3年生の子も一緒に、活動の内容や目的、「どんな物があったら、帰りを伝えてあげよう」「所付を忘れていたら、声をかけてあげよう」等具体的な協力方法を共有してもらうことができた。また、次の学習で自分の発見や気づきについて活動するため、もっともっと幅広い物と出会う時間とできると良かった。全体的な学習デザインをさらに進めていくことで、いかに物との出会いを準備していくかを考える必要があると感じた。

学びのサイクルデザインシート (ぐるぐるシート)

6 城東小3年間のあゆみ

滋賀県版「架け橋期カリキュラム」共通シート

【城東小学校区】校名 (城東小学校)

5歳児

第1学年

時期	5歳児			第1学年		
	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3
期待する子ども像	心が動く、心をほぐす ～答えがないことでも、自ら考え、しなやかな心を持ち、失敗を恐れず行動する～					
幼児期の終わりまでに身につけてほしい姿	自信の芽を育て、もっとこうしたいという思いが強くなり、試行錯誤しながら、自分なりに挑戦までやってみようとする。 友達や先生と関わり、自由をもって探めずし取り進むようになる。	好奇心や探求心をもち、自由をもって探めずし取り進むようになる。	自信をもって自ら試み、試行錯誤しながら、自分なりに挑戦までやってみようとする。	「できた！」を味わうようになる。	「できた！」の両をもちに挑戦し、チャレンジし続けるようになる。	「できた！」を味わうようになる。
大切にしたいこと	環境 ・子どもが、自らやってみようとする環境の工夫 ・友達や先生との関わり（年齢差交流を大切に）が活性化される場づくり	先生 ・子どもと先生が共に学ぶ環境 ・同じ目的に向かって取り組むようになる場づくり	環境 ・子どもが、自らやってみようとする環境の工夫 ・友達や先生との関わり（年齢差交流を大切に）が活性化される場づくり	先生 ・子どもと先生が共に学ぶ環境 ・同じ目的に向かって取り組むようになる場づくり	環境 ・子どもが、自らやってみようとする環境の工夫 ・友達や先生との関わり（年齢差交流を大切に）が活性化される場づくり	先生 ・子どもと先生が共に学ぶ環境 ・同じ目的に向かって取り組むようになる場づくり
キーワード	あわもやりたい！こわもやりたい！	もっと もっと やりたい！	できたよ！ もっとできるよ！	型ってる！ やりたい！	もっと もっと やりたい！	できたよ！ もっとできるよ！

主な教育課程・予想される



6 城東小3年間のあゆみ

滋賀県版「架け橋期カリキュラム」共通シート

【城東小学校区】校名 (城東小学校)

5歳児

第1学年

時期	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3
期待する子ども像	<p>心が動く、心をほぐす ～答えがないことでも、自ら考え、しなやかな心もち、失敗を恐れず行動する～</p>					
幼児期の終わりまでに身につけてほしい姿	<p>自己の意を表明して、もっとこうしたいという思いが強くなり、試行錯誤しながら、自分なりに課題までやってみようとする。</p> <p>高ぶる姿や達成感を感じ、自信をもって誇りに取り進むようになる。</p>	<p>友だちの多様な考えに尊重を受けながら、試行錯誤する思いを共有できるようになる。</p> <p>ひとりで考えたり、友達と考えあひらきして物事を解決する自信を身に付けられるようになる。</p>	<p>心算や九九の暗唱を受け、試行錯誤しながらも楽しくできるように工夫できるように。</p> <p>友達と考えあひらき、思いを受け入れて新しい考えを生み出そうとする。</p>	<p>高ぶる姿や達成感を感じ、自信をもって誇りに取り進むようになる。</p> <p>友だちの多様な考えに尊重を受けながら、試行錯誤する思いを共有できるようになる。</p> <p>ひとりで考えたり、友達と考えあひらきして物事を解決する自信を身に付けられるようになる。</p>	<p>友だちの多様な考えに尊重を受けながら、試行錯誤する思いを共有できるようになる。</p> <p>高ぶる姿や達成感を感じ、自信をもって誇りに取り進むようになる。</p>	<p>友だちの多様な考えに尊重を受けながら、試行錯誤する思いを共有できるようになる。</p> <p>高ぶる姿や達成感を感じ、自信をもって誇りに取り進むようになる。</p>
大切にしたいこと	<p>環境 ・すばしが、自らやってみるには必要環境の工夫 ・言葉の士の間わり（年齢別交流を強化）が図られる場づくり</p> <p>先生の関わり ・「大丈夫！」を掛け合わせる振り返りの習慣づくり</p>	<p>仲間、大組 ・子どもと先生が共に作る環境 ・同じ得意に育ちながら取り組むようになる場づくり</p> <p>振り返り ・振り返りを通して、友達とつながる振り返りの充実</p>	<p>友だちの多様な考えに尊重を受けながら、試行錯誤する思いを共有できるようになる。</p> <p>高ぶる姿や達成感を感じ、自信をもって誇りに取り進むようになる。</p>	<p>友だちの多様な考えに尊重を受けながら、試行錯誤する思いを共有できるようになる。</p> <p>高ぶる姿や達成感を感じ、自信をもって誇りに取り進むようになる。</p>	<p>友だちの多様な考えに尊重を受けながら、試行錯誤する思いを共有できるようになる。</p> <p>高ぶる姿や達成感を感じ、自信をもって誇りに取り進むようになる。</p>	<p>友だちの多様な考えに尊重を受けながら、試行錯誤する思いを共有できるようになる。</p> <p>高ぶる姿や達成感を感じ、自信をもって誇りに取り進むようになる。</p>
キーワード	あわもやりたい！こわもやりたい！	もっと もっと やりたい！	できたい！ もっとできると！	型ってる！ やりたい！	もっと もっと やりたい！	できたい！ もっとできると！

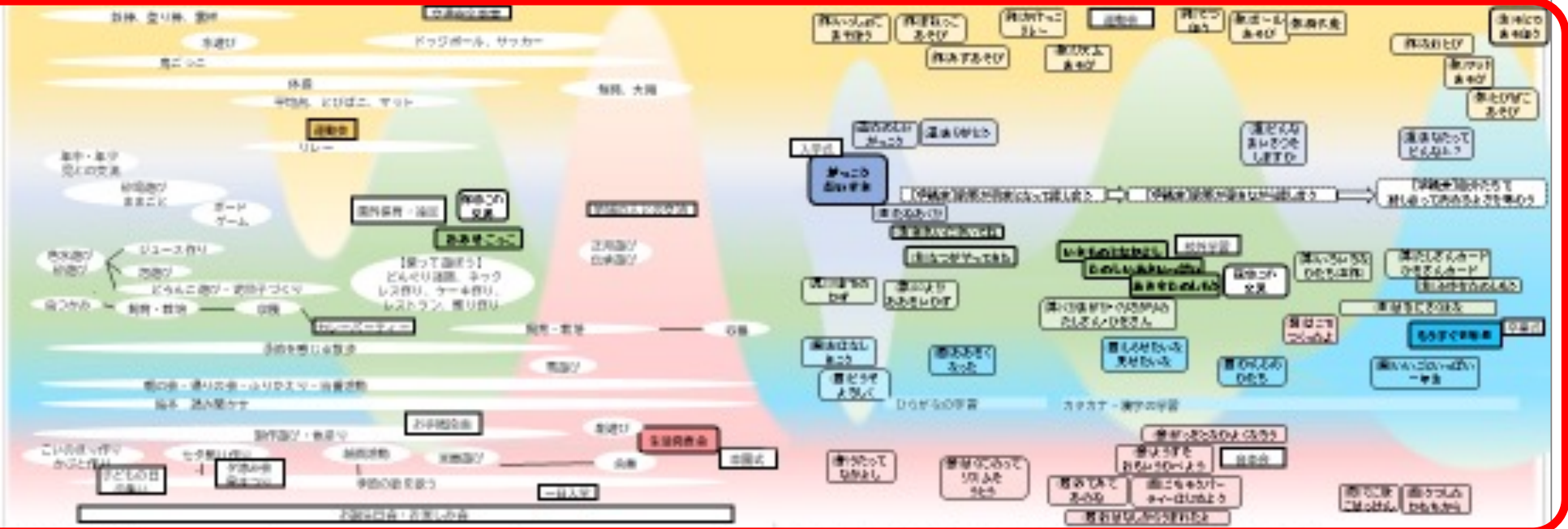
主な教育課程・予想される



6 城東小3年間のあゆみ

期待する子ども像	心が動く、心をほぐす ～答えがないことでも、自ら考え、しなやかな心を持ち、失敗を恐れず行動する～			
研究員の 終わりまで に集ってほしい	<p>自主の 学習</p> <p>関心を喚起して、もっとこうしたいという思いが湧き、試行錯誤しながら、自分なりに到達までやってみようとする。</p> <p>高学年や高学年を味わい、自信をもって探めずし取り進むようになる。</p>	<p>思考力の 育成</p> <p>成績や知識の習得を受け、試行錯誤しながらも楽しくしようと工夫するようになる。</p> <p>高学年や高学年を味わい、自信をもって探めずし取り進むようになる。</p>	<p>「できた！」の達成感をもたせ、チャレンジし続けるようになる。</p> <p>「できた！」の達成感をもたせ、チャレンジし続けるようになる。</p>	<p>「できた！」の達成感をもたせ、チャレンジし続けるようになる。</p> <p>「できた！」の達成感をもたせ、チャレンジし続けるようになる。</p>
大切にしたいこと	<p>環境 率先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが、自らやってみたいと思える環境の工夫 ・高学年との関わり（高学年交流をきっかけ）が活性化される場づくり 	<p>先生の 関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと先生が対になる環境 ・同じ道筋に向かって取り組むようになる場づくり 	<p>・高学年と高学年との関わり</p> <p>・高学年の指導、思いを伝えたときの喜び</p>	<p>・高学年との関わり</p> <p>・高学年の指導、思いを伝えたときの喜び</p>
キーワード	あわわやりたい！ これもやりたい！	もっと もっと やりたい！	できたよ！ もっとできるよ！	あわわやりたい！ もっと もっと やりたい！

主な教育課程・予想される活動



【授業に活用する教材】
 ◎国語科の学習でやっていたことをとんどん取り入れて体育科や音楽科の学習を始め
 ◎音楽科の活動でやっていたことをとんどん取り入れて国語科の学習を始め

6 城東小3年間のあゆみ

滋賀県版「架け橋期カリキュラム」共通シート

【城東小学校区】校名 (城東小学校)

時期	5歳児			第1学年		
	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3	4・5・6・7	8・9・10・11・12	1・2・3
期待する子ども像	心が動く、心をほぐす ～答えがないことでも、自ら考え、しなやかな心もち、失敗を恐れず行動する～					
幼児期の終わりまでに身につけてほしい姿	好奇心を養って、もっと知りたいという思いが強くなり、試行錯誤しながら、自分なりに興味を持ってやってみようとする。 友達や先生と関わり、自由をもって探めずし取り進むようになる。			興味をもって自らなことにチャレンジし、「できた!」を味わうようになる。 「できた!」の回数をもとに挑戦を促して、チャレンジし続けるようになる。		
思考力の芽生え	友達や先生の話を聞き、試行錯誤しながらも考えようとする工夫をするようになる。 友達と考えを共有し、思い違いを受け入れて新しい考えを共有できるようにする。			友だちの多様な考えに想像を受けながら、試行錯誤する面白さを味わうようになる。 ひらきで考えたり、友達と考えを共有して物事を解決する面白さを味わうようになる。		
大切にしたいこと	環境 ・すばらしい、自らやってみようという意欲を促す環境の工夫 ・友達や先生の関わり(年齢差交流を大切に)が活性化される場づくり	先生 ・「できた!」を褒められる喜びの場づくり ・「自分で考えよう」という思いを、友達とつながる喜びの場づくり	子ども ・友達と先生が共に考える場 ・同じ目的に向かって取り組むようになる場づくり	環境 ・意欲を促す場づくり ・友達や先生の関わり(年齢差交流を大切に)が活性化される場づくり	先生 ・「できた!」を褒められる喜びの場づくり ・「自分で考えよう」という思いを、友達とつながる喜びの場づくり	子ども ・友達と先生が共に考える場 ・同じ目的に向かって取り組むようになる場づくり
キーワード	あわもやりたい! こわもやりたい!			もっと もっと やりたい! できたよ! もっとできるよ!		

主な教育課程・予想される



6 城東小3年間のあゆみ

1年目

自立心	やってみてできたことや、うまくできなくて困った経験を通して、もっとこうしたいという思いが強くなっていく。	考えたり工夫したり、失敗したりを繰り返しながら、自分なりに最後までやってみようとする。	できた満足感や達成感から更に積極的に自分の考えを出し、自信をもって諦めずに取り組むことができるようになる。	自分でできそうなことを見つけてためしたり、やり直したりしながら、新しい生活に慣れる。	経験したことをもとに見通しをもち、手ごたえを感じながら、できることを積み上げていく。	経験に基づいた見通しをたてて取り組み、達成感、満足感を味わい、自信を深める。
思考力の芽生え	自分と友だちの思いや考えの違いに気付きながら色々な遊びや活動を楽しむ	お互いの思いや考えを伝えたり聞いたりしながら、もっと楽しくしようと工夫するようになる	グループやクラスで色々な考えを出し合い違いを受け入れて新しい考えを生み出そうとする	新しい生活や環境に慣れ、小学校の学習や活動に興味をもつ。	お互いの考えの違いに気づいたり、よさを感じたりして、ともに学ぶことを楽しむ。	ひとりで考えたり、友だちと考え合ったりして、物事を解決する面白さを味わい続ける。
環境単元	子どもが手に取り、自らやってみたい、もっとこうしたいと思えるような場の工夫	自分で見て触れて感動できる豊かな体験の積み重ね	友達同士の関わり（異年齢交流を含む）が活性化する場づくり	期待感いっぱいの学びの環境	広がる つながる 学びの環境	経験・既習したことを試しながら深まる自信・意欲
先生の関わり	好きな遊びに夢中になれる時間や場を充実させるような関わり	共感的な受け止めと関わり	個の思いを認め、つなげる	入学までの体験を把握し、触れたい、すぐ試したいとなる材料・用具の配置	広がりがつながりを生む 材料・用具の配置と教師の声掛け	グループやクラスで色々な考えを出し合い違いを受け入れて新しい考えを生み出そうとする
キーワード	やってみたい、もっとやりたい	様々な経験の積み重ね	友達とつながる、深まる	知ってる！ やりたい！	もっと もっと やりたい！	できたよ！ もっとできるよ！

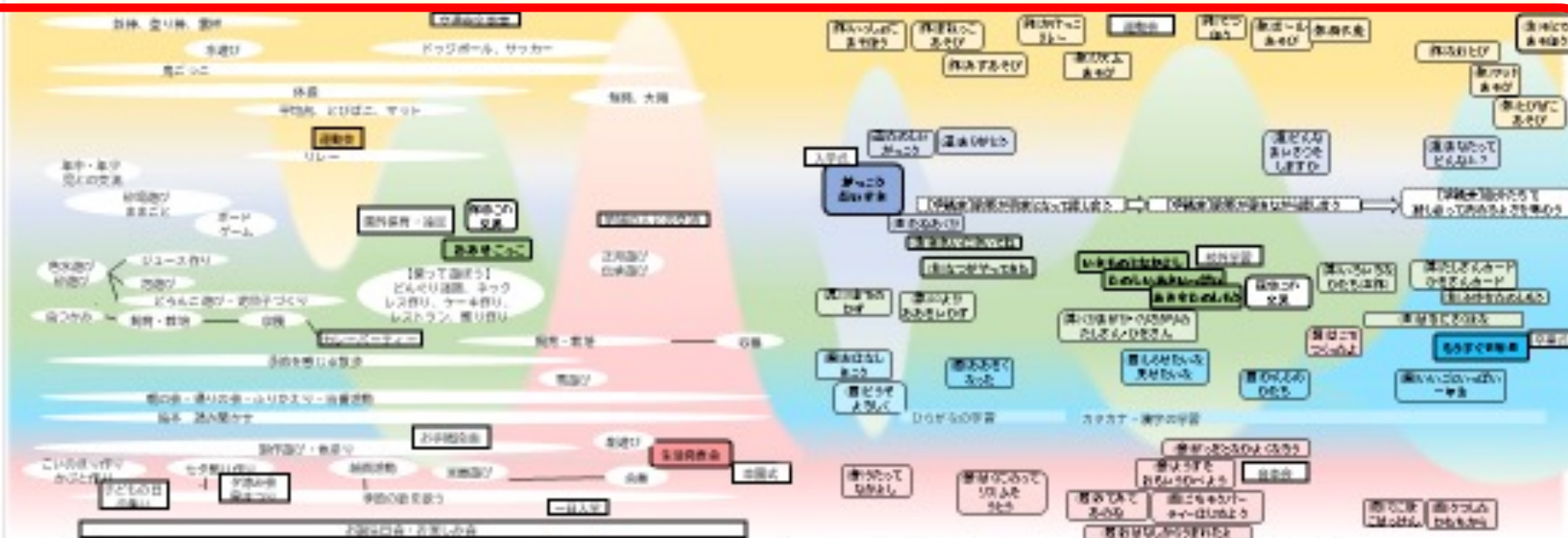
3年目

自立心	園生活を通して、もっとこうしたいという思いが強くなり、試行錯誤しながら、自分なりに最後までやってみようとする。	満足感や達成感を味わい、自信をもって諦めずに取り組むようになる。	興味をもって色々なことにチャレンジし、「できた！」を味わうようになる。	「できた！」自信をもとに見通しをたて、チャレンジし続けるようになる。		
思考力の芽生え	環境や友達の刺激を受け、試行錯誤しながらもっと楽しくしようと工夫するようになる。	友達と考えを出し合い違いを受け入れて新しい考えを生み出そうとする。	友だちの多様な考えに刺激を受けながら、試行錯誤する面白さを味わうようになる。	ひとりで考えたり、友達と考え合ったりして物事を解決する面白さを味わい続けるようになる。		
環境単元	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが、自らやってみたいと思える環境の工夫 友達同士の関わり（異年齢交流を含む）が活性化する場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと先生が共に作る環境 同じ目的に向かって取り組みたくなる場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟な教科書教材の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の発想・思いを生かした単元構想 		
先生の関わり	<ul style="list-style-type: none"> 「伝えたい」を受け止める振り返りの雰囲気づくり 個の思いを認め、友達とつながる振り返りの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 入学前の活動経験や思いを引き出す問いかけ「どうしたい？」「どうしてた？」 子どもの気付きを教科の気付きへ 	<ul style="list-style-type: none"> 次どうしたいかが生み出されるような振り返りの工夫 			
キーワード	あれもやりたい！ これもやりたい！	もっと もっと やりたい！	できたよ！ もっとできるよ！	知ってる！ やりたい！	もっと もっと やりたい！	できたよ！ もっとできるよ！

6 城東小3年間のあゆみ

期待する子ども像	心が動く、心をほぐす ～答えがないことでも、自ら考え、しなやかな心を持ち、失敗を恐れず行動する～			
研究期の終わりまでに集ってほしい品	<p>自主の</p> <p>関心を満たして、もっとこうしたいという思いが湧き、試の連続しながら、自分なりに挑戦までやってみようとする。</p> <p>高学年や高学年を味わい、自信をもって探めずし取り進むようになる。</p>	<p>「できた！」を味わうようになる。</p> <p>「できた！」の両手もとに笑顔と達成感、チャレンジし続けるようになる。</p>	<p>思考力の</p> <p>考え</p> <p>成長や知識の習得を受け、試行錯誤しながらも楽しくしようと工夫するようになる。</p> <p>共通の考えを話し合い、違いを受け入れながら新しい考えを育み出すようになる。</p>	<p>友だちの多様な考えに刺激を受けながら、試行錯誤する姿勢で学ぶようになる。</p> <p>ひとりで考えたり、友達と考えあがかりして物事を解決する姿勢を持って行動できるようになる。</p>
大切にしたいこと	<p>環境</p> <p>単元</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが、自らやってみようとする環境の工夫 ・友達同士の間わり（年齢別交流を含め）が活性化される場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと先生が対になる環境 ・同じ道筋に向かって取り組むようになる場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的な教科書教材の取り扱い 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の態度・思いを大切にしながら授業展開
	<p>先生の</p> <p>関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「できた！」を喜びながら振り返りの場を設ける ・「いいね！」を認め、友達とつながる振り返りの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・「できた！」を喜びながら振り返りの場を設ける ・「いいね！」を認め、友達とつながる振り返りの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生自身の成長や思いを引き出す問いかけ「どうしていい？」「どうしていい？」 ・子どもが気づきや教材の気づきへ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「できた！」の両手もとに笑顔と達成感、チャレンジし続けるようになる振り返りの工夫
キーワード	あわもやりたい！ これもやりたい！	もっと もっと やりたい！	できたよ！ もっとできるよ！	知ってる！ やりたい！

主な教育課程・予想される活動

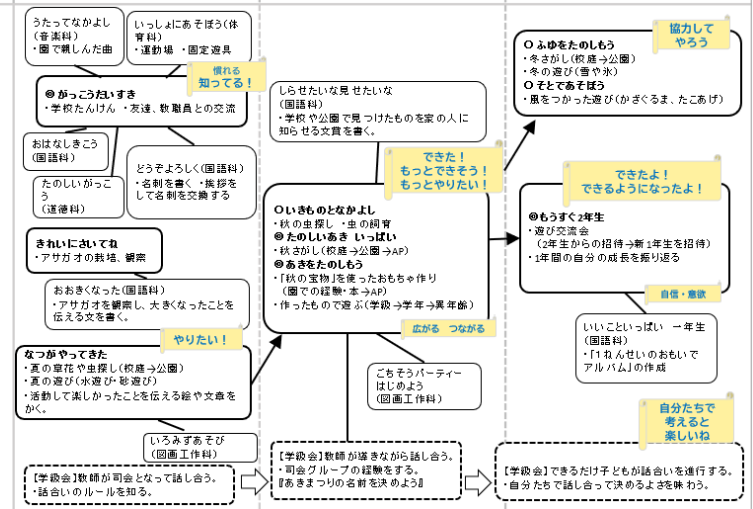
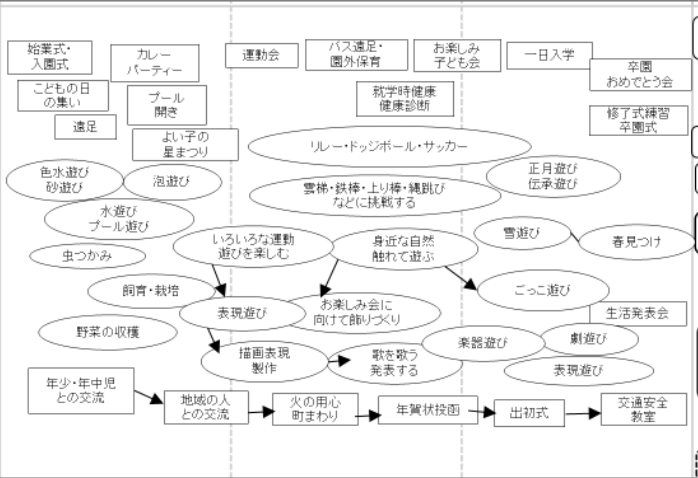
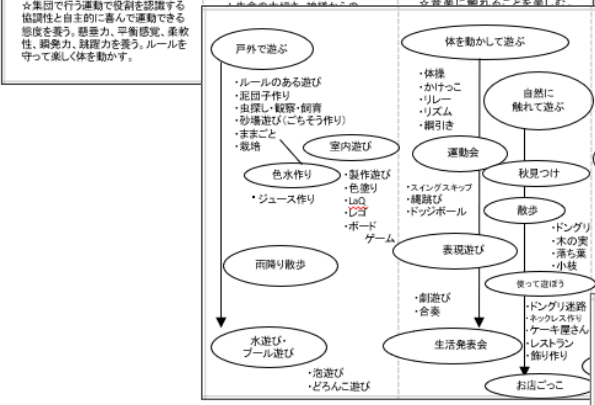
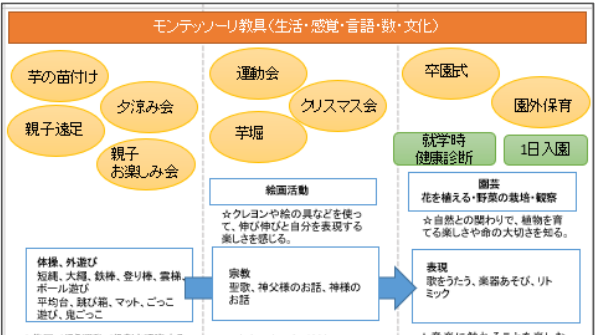


【授業に活用する教材】

◎国語科の学習でやっていたことをとんどん取り入れて体育科や音楽科の学習を始め

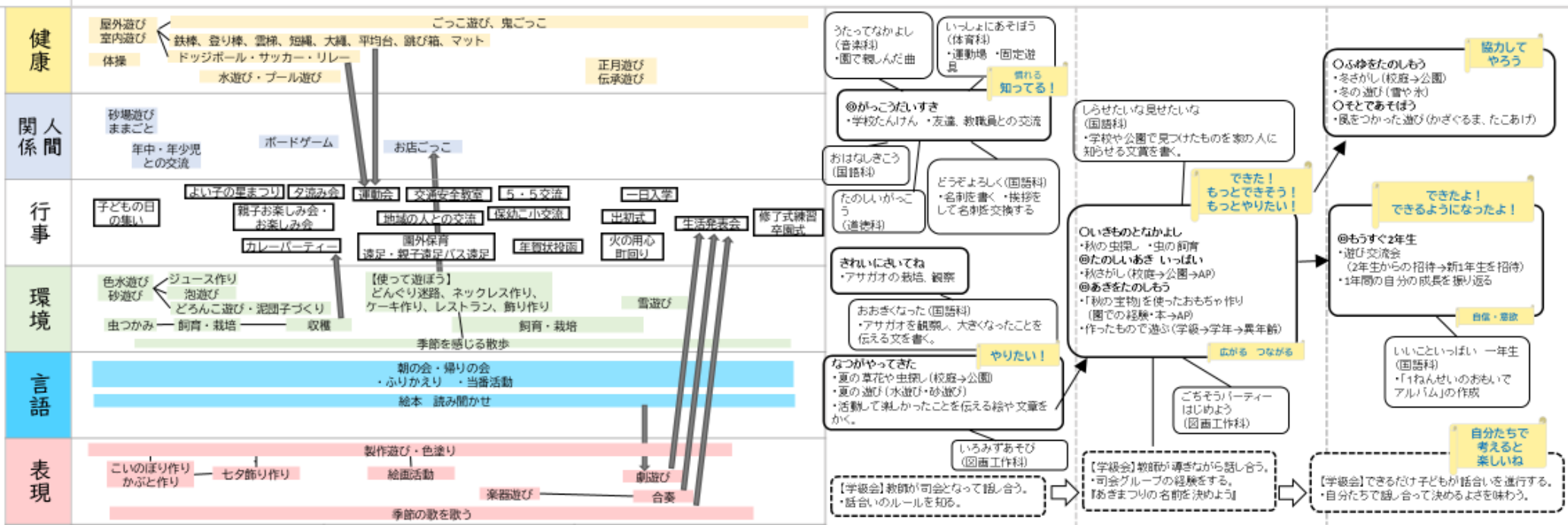
◎授業の展開や教材の活用、子どもが主体的に関わり、学習活動に取り組むことには、必ずしも「できた！」や「いいね！」がなくても、子どもが主体的に関わり、学習活動に取り組むことが大切です。

6 城東小3年間のあゆみ



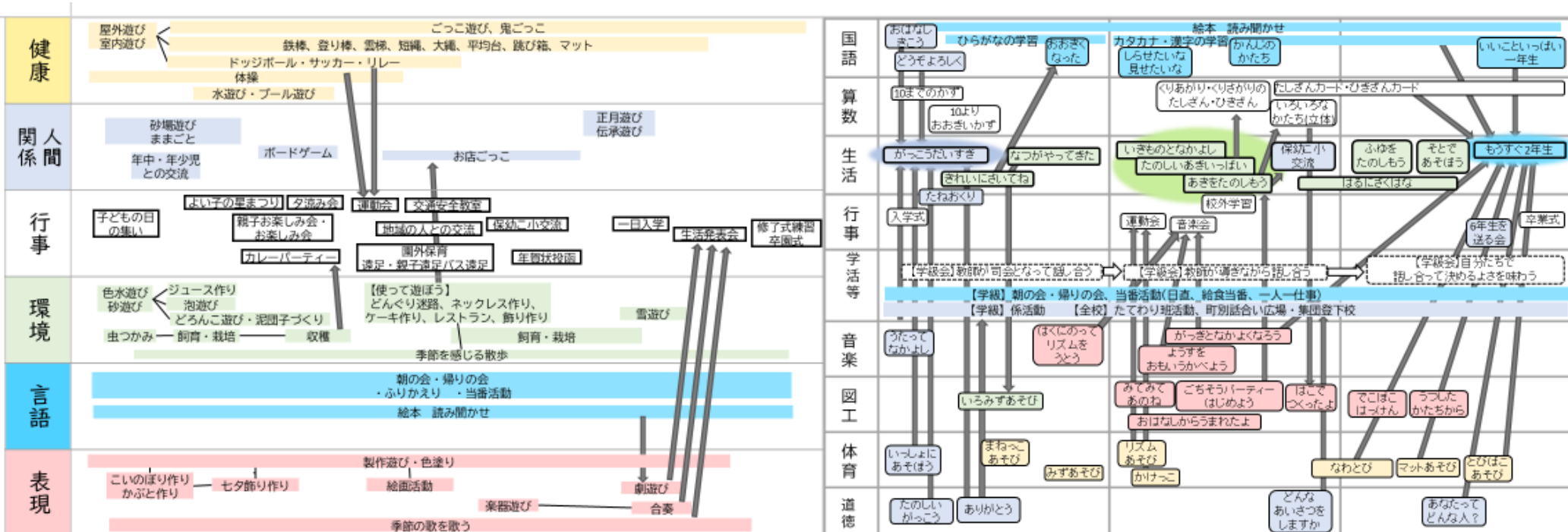
6 城東小3年間のあゆみ

主な教育課程・予想される活動

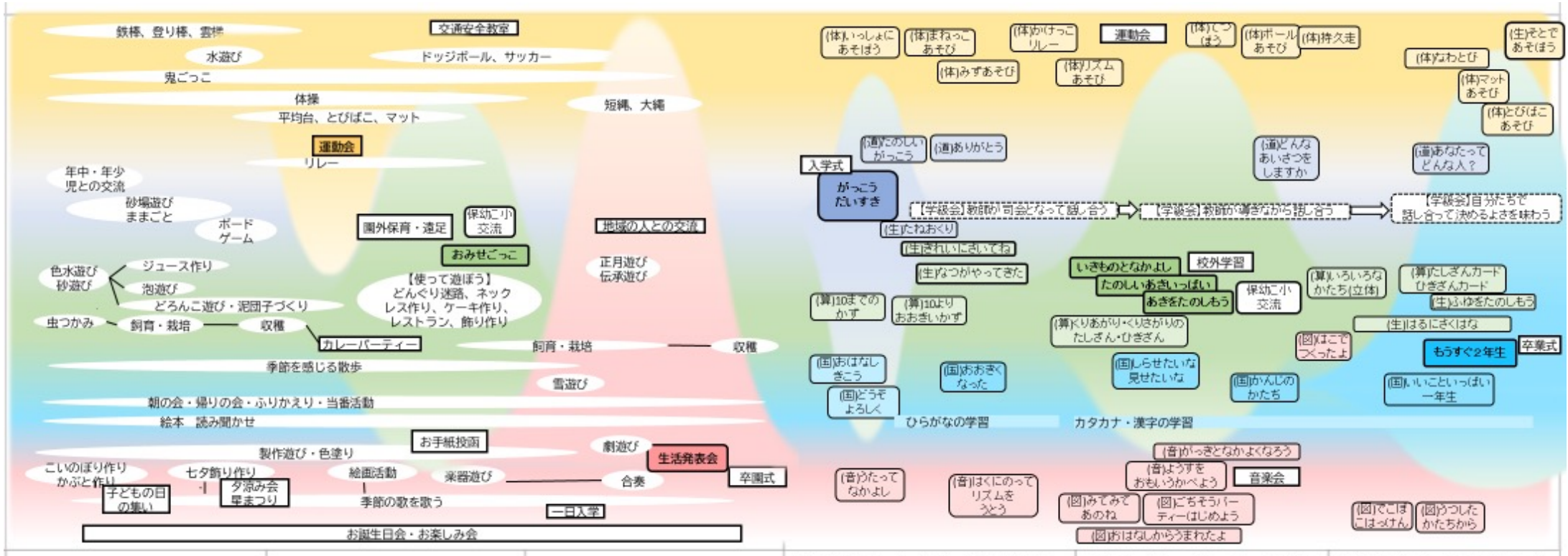


6 城東小3年間のあゆみ

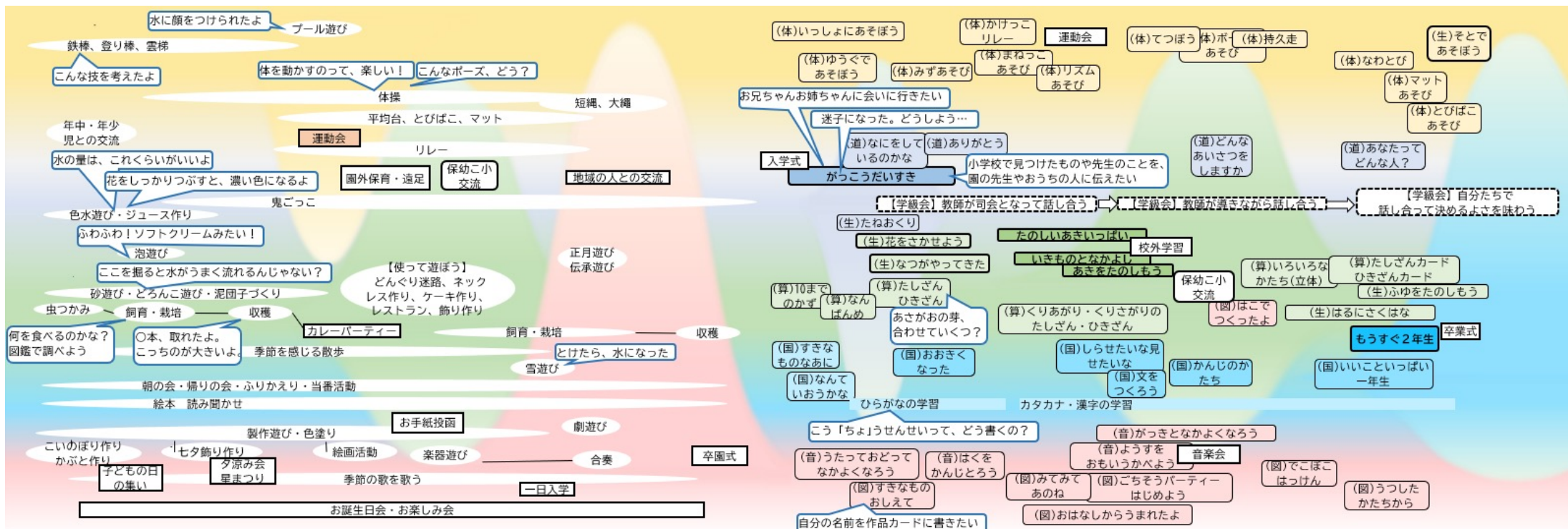
主な教育課程・予想される活動



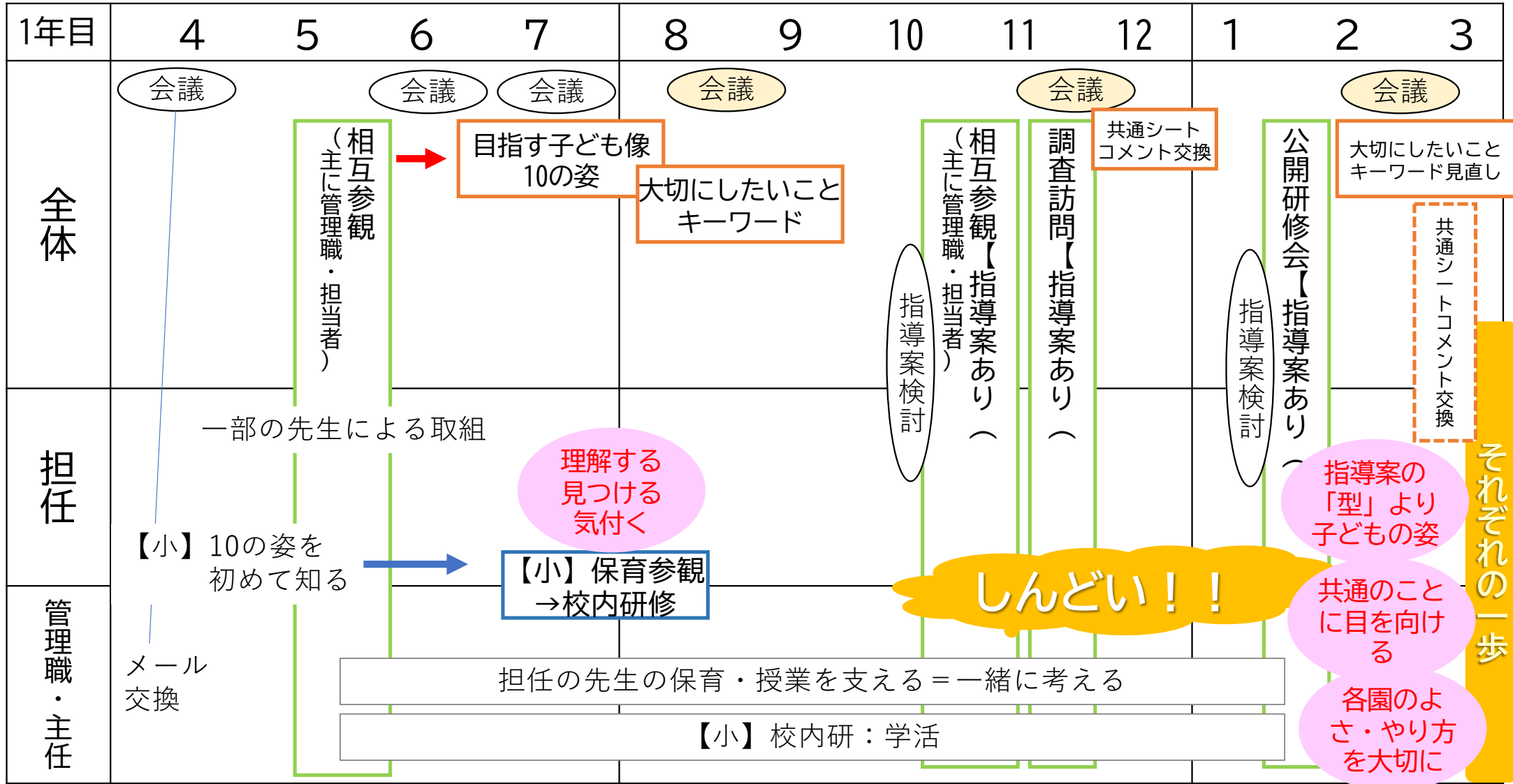
6 城東小3年間のあゆみ



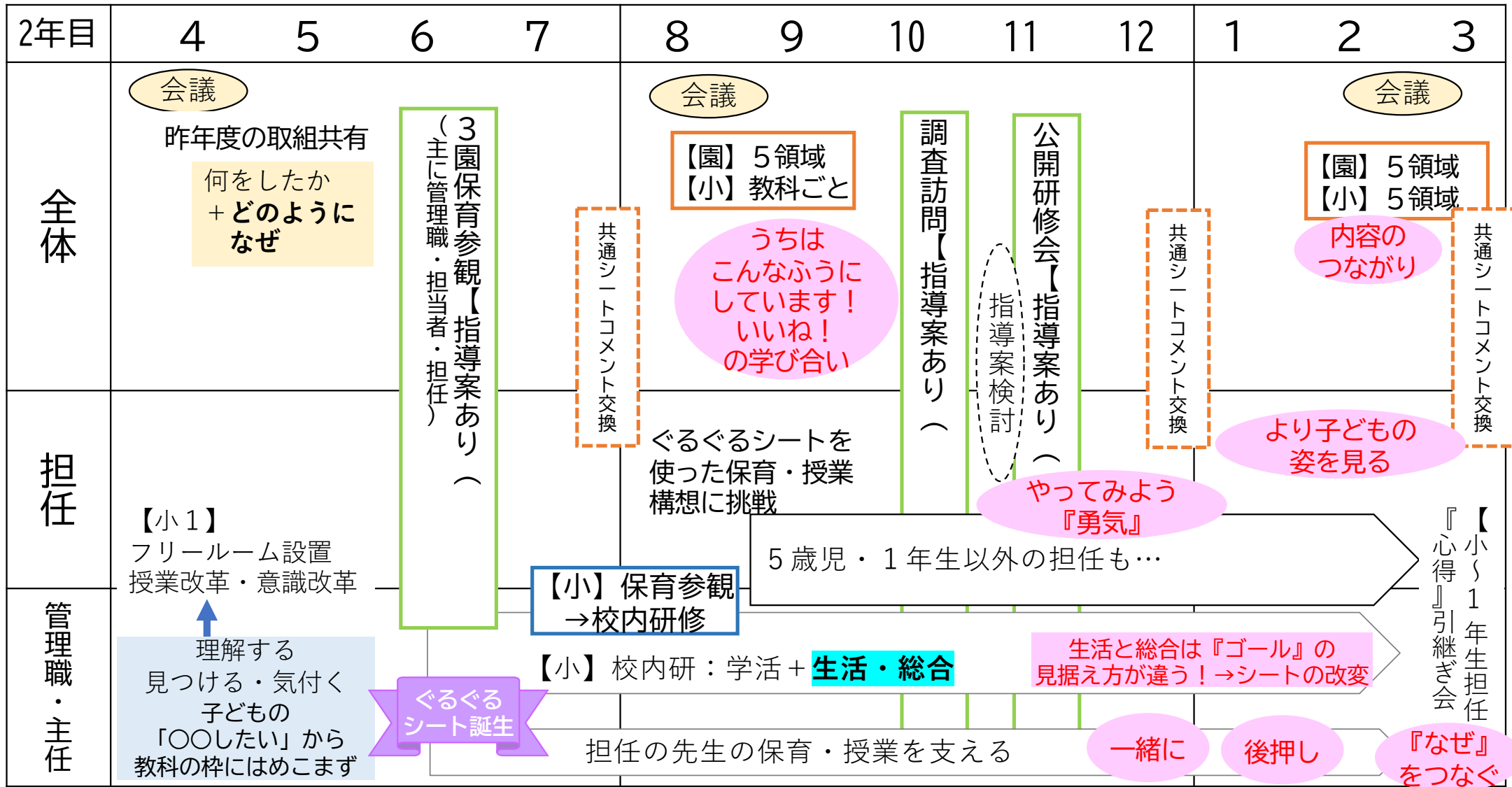
6 城東小3年間のあゆみ



6 城東小3年間のあゆみ



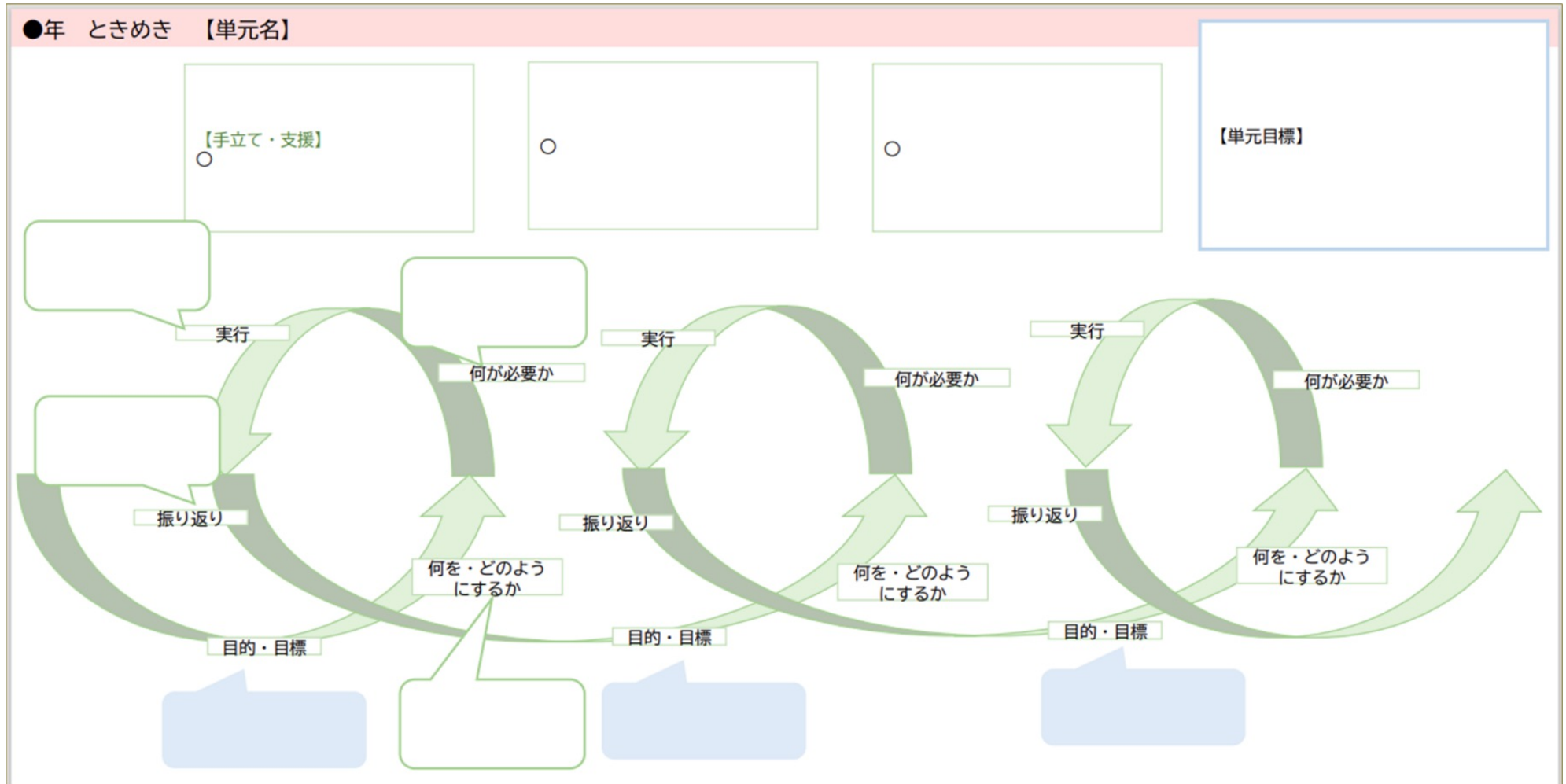
6 城東小3年間のあゆみ



6 城東小3年間のあゆみ

3年目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
全体	<p>会議 昨年度の 取組共有 何をしたか</p> <p>【授業公開 指導案あり】 指導案検討</p>	<p>公開研修会【指導案あり】</p>	<p>『気軽に』相互参観・情報交換～園内研・校内研などの機会を使って 【指導案あったりなかったり】</p>									
担任	<p>指導案検討</p> <p>5歳児からの つながり</p>	<p>指導案検討</p>	<p>共通シートコメント交換</p>	<p>会議 (1学期) 事例の共有 子どもの姿協議</p>	<p>【園】 ○歳児も ぐるぐるシート</p> <p>5歳児との 違い</p>	<p>調査訪問【指導案あり】</p>	<p>指導案検討</p>	<p>公開研修会【指導案あり】</p>	<p>共通シート・事例の共有、 コメント交換</p>	<p>会議 (2・3学期) 子どもの姿協議</p> <p>資質・能力 のつながり</p>	<p>共通シート・事例の共有、 コメント交換</p>	
管理職・主任	<p>【小1】 ・フリールーム 設置 ・授業改革 ・意識改革</p>	<p>ぐるぐるシートを使った保育・授業構想 みんなでやろう！～各校園のやり方で…</p>										
			<p>ぐるぐるシートを 複数で作る (話す・書く)</p>	<p>他のクラスに 入ることで 気付く</p>	<p>教室入口の ボードに感想 付箋を貼る</p>	<p>全体へ、考え方の広がり</p>						<p>これからも…!</p>

6 城東小3年間のあゆみ



子どもの「〇〇したい」からはじまる授業づくり

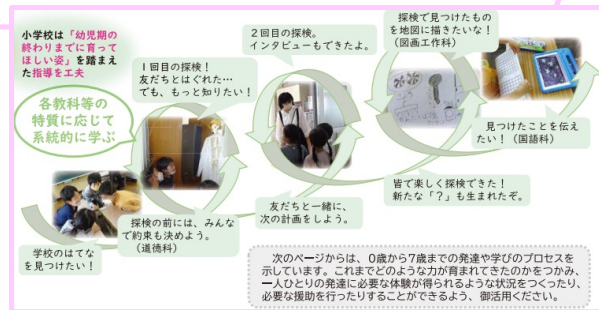
それって、どうやって??



ぐるぐるシートの誕生

子どもの「〇〇したい」という思いから出発して活動が展開され、次の「〇〇したい」につながる、ということをお大切にしたい単元構想ができるといいんだけど…

それなら、県で使っている『この形』がぴったりなんじゃない？

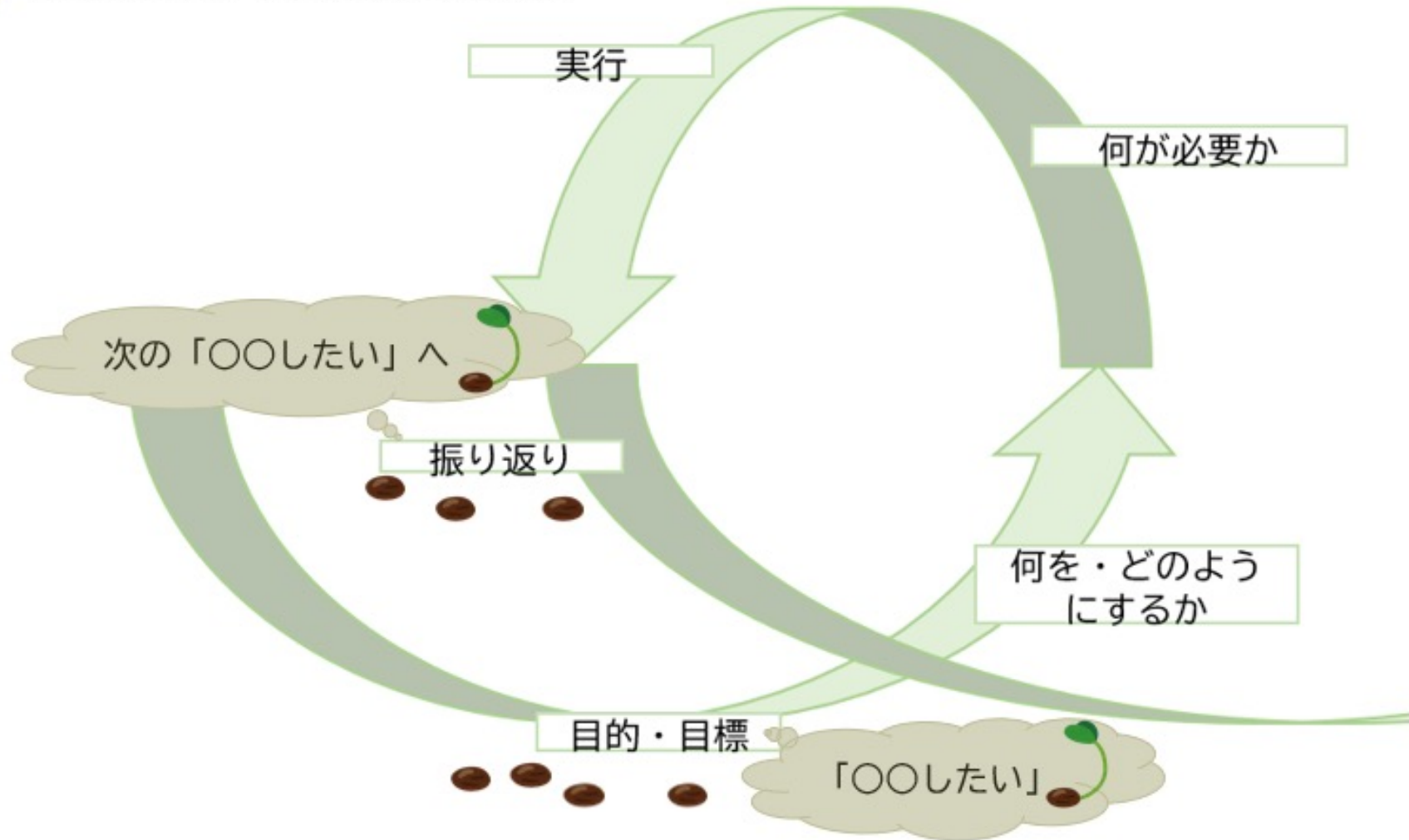


福井大附属で使っている『5つの場面』を取り入れて考えるようにするといいと思うよ!

発意-構想-構築-表現-省察

ぐるぐるシートの誕生

🔑 「〇〇したい」をつなげる単元構想



6 城東小3年間のあゆみ

【城東小学校区】校名（彦根市立城東小学校）

滋賀県版 学びのサイクル デザインシート

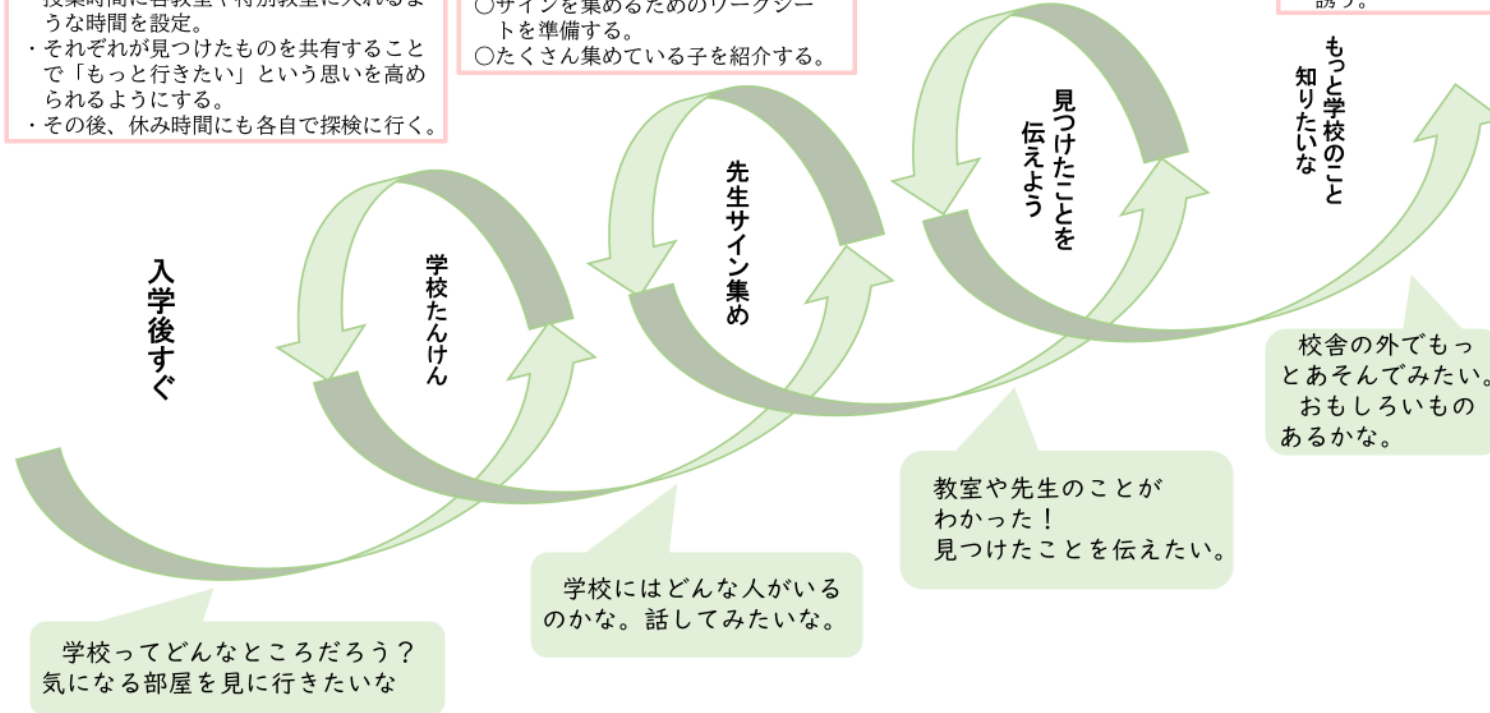
【「～したい！」に繋がる 手立て・配慮・場の設定】

- 学校探検の約束をみんなで考える。
- 1人1人が行きたい所に自由に行く。
〈全教職員の協力〉
 - ・授業時間に各教室や特別教室に入れるような時間を設定。
 - ・それぞれが見つけたものを共有することで「もっと行きたい」という思いを高められるようにする。
 - ・その後、休み時間にも各自で探検に行く。

- サイン集めの約束をみんなで考える。
- 休み時間にも自由に集めに回る。
- サインを集めるためのワークシートを準備する。
- たくさん集めている子を紹介する。

- これまでの活動について想起できるような写真などを準備しておく。
- 「伝えたい」という気持ちをより高めるため、卒園した園の先生方に伝えられる場を設定する。

- 子どものつぶやきを拾い、次の活動へ。子どもの関心が校舎内から校舎外へむかうように誘う。



教師との信頼関係に 支えられた生活

【城東小学校区】校名（彦根市立城東小学校）

滋賀県版
学びのサイクル
実践シート

○学校探検の約束をみんなで考える。
○1人1人が行きたい所に自由に行く。
(全教職員の協力)
・授業時間に各教室や特別教室に入れるような時間を設定。
・それぞれが見つけたものを共有することで「もっと行きたい」という思いを高められるようにする。
・その後、休み時間にも各自で探検に行く。

*共有では、「どこに行きましたか？」と発問をしたが、「なにをみつけたか？」というように、「がっこうの○○（おもしろいこと、たのしいこと、びっくりなこと等）をみつけよう」というめあてに沿った問いかけの方がよかった。

「どこに行く？」
「お兄ちゃんの教室に行くよ。2階にあるんだよ。」
校内を自由に探検してよいことになりました。また、全教員の協力のもと、各教室にも自由に入出入りできるようにしました。

「理科室で、がいこつと握手した！」
「私も！」
「音楽室に、楽器がいっぱいあったよ」「私も見たい！」
共有から、新たな「○○したい」が生まれました。

入学後すぐ

学校ってどんなところだろう？
どんな部屋があるか見に行きたいな。

*探検に行く前、説明の時間が長くないようにする。(わくわく感をもって活動に臨ませたい。)
注意事項も、与えすぎないように。全教職員に協力を仰ぎ、騒ぐ、教室内を動き回る等、よくない行動が見られたらその場で注意してもらい、それを教室で共有することでルールを作っていくこともできる。

○サイン集めの約束をみんなで考える。
○休み時間にも自由に集めに回る。
○サインを集めるためのワークシートを準備する。
○たくさん集めている子を紹介する。

*大勢の先生からサインをもらうという活動で終わるのではなく、「もっと仲良くなりたい」「もっと知りたい」と思う先生を選び、さらにインタビューに行くという活動が設定できるとよい。活動名は、サイン集めではなく、「先生と仲良くなろう」などがよいのでは。

「失礼します。今いいですか。僕の名前は○○です。先生の名前を教えてください。」「サインをしてください。」
「ありがとうございました。失礼しました。」
活動の後半には、たくさんサインを集めることが目的になってしまい、先生のことを知りたい、自分のことも知ってほしい、という初めの思いから活動がそれてしまいました。

先生サイン集め

インタビュー前

「好きな食べ物が知りたい。」
「自分の好きな物もおはなししたい。」
一人一人聞きたいことや伝えたいことが違うので、何を聞くかを決めず、自分が聞いてみたいことを聞こう、ということになりました。

学校にはどんな人がいるのかな。
知りたいな。

「○年△組にお兄ちゃんの先生がいたよ。」
「私のお姉ちゃんの先生にも会ったよ。」
「人」に注目した子どもの発言をきっかけに、いろいろな「場所」をめぐるたくさん「もの」を発見した子ども達が、いろいろな「場所」にいるたくさんの「人」に視点を移していけるよう導きます。

○これまでの活動について想起できるような写真などを準備しておく。
○「伝えたい」という気持ちをより高めるため、卒園した園の先生方に伝えられる場を設定する。

*学校探検で見つけたものや人について十分に話せるようにしたい。そのために、タブレットで写真を撮って見せながら話すようにするなど、それまでの学習の支援を改善していく必要がある。

「こんなにたくさん城東小の先生のサインを集めたよ。」
園の先生に実物を見せたり、その場まで一緒に行ったりして、学校探検での発見を伝えます。しかし、見つけた「もの」について話す子は少なかったです。また、「人(先生)」についても、集めたサインを見せるだけにとどまりました。



見つけたことを伝えよう

「伝えよう会」の計画

「いっぱい集めたサインを見てほしい！」
「園工でつくった作品を見せたい」
入学後に取り組んだことの中から、園の先生に伝えたいことを考えます。わくわくが高まりました。

校舎の外でもっと遊んでみたい。
おもしろいものがあるかな。

教室や先生のことがわかった！
見つけたことを園の先生に伝えたい。

*今回は、学校探検で見つけたもの以外にも、入学後にできるようになったことや頑張っていること、制作物などについても話してもよいでしたが、学校探検で発見したものや学校の先生のことに関連した方が子どもの自然な思考に沿うのではないかと。

○子どものつぶやきを拾い、次の活動へ。子どもの関心が校舎内から校舎外へむかうように誘う。

もっと学校のこと
知りたいな

滋賀県版
学びのサイクル
実践シート

【城東小学校区】校名（彦根市立城東小学校）

【小】 保育参観→校内研修

『気軽に』相互参観・情報交換～園内研・校内研などの機会を使って
【指導案あったりなかったり】

理解する
見つける・気付く
子どもの
「〇〇したい」から
教科の枠にはめこまず

5歳児から
のつながり

内容の
つながり

資質・能力
のつながり

授業での子どもの姿や活動を具体的にイメージできた！！

授業改革・意識改革

教師との信頼関係に 文えうれに生活

研究主任として、「架け橋」の主担当を支える立場として

★校内研として取り組む＝全校で取り組む
管理職のGOサイン、全教職員の合意

★組織はつくるが、まずは、一人ひとりと一緒に話す、悩む、考える
次に、実践を通して「実感」してもらう
更に、実践後に話をして「気付き」を促す
そして、それを繰り返す
次第に、一人で進みだす

＝一人一人の**自走**

★「気付き」「自走」を引き継ぐ**システム**をつくる
○「1年担任の“心得”引継ぎ会」で語って引き継ぐ
▲実践記録で語って引き継ぐ

＝組織の**自走**



ありがとうございました

